

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成14(2002)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|----------------------|-----------|
| 01 単行本 | 19 細菌学史 |
| 02 医学切手・書画 | 20 産婦人科史 |
| 03 医学教育 | 21 齒学史 |
| 04 医学用語 | 22 史跡・記念碑 |
| 05 医師会・学会 | 23 疾病史 |
| 06 医史学一般 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 07 医の倫理 | 25 種痘史 |
| 08 医療器械 | 26 獣医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 27 書簡 |
| 10 衛生・公衆衛生
・予防医学史 | 28 書誌学 |
| 11 解剖学史 | 29 小児科史 |
| 12 眼科史 | 30 神経学史 |
| 13 看護史 | 31 診断学史 |
| 14 寄生虫学史 | 32 整形外科学史 |
| 15 教室・大学史 | 33 精神医学史 |
| 16 軍陣医学史 | 34 生物学史 |
| 17 形成外科学史 | 35 西洋医学史 |
| 18 外科史 | 36 生化学史 |
| | 37 生理学史 |

- | | |
|----------------|-----------------|
| 38 地方史 | 52 法医学史 |
| 39 治療史 | 53 放射線医学史 |
| 40 伝記 | 54 本草学史・博物学史 |
| 41 伝記(双) | 55 麻醉学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 56 門人録 |
| 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史 |
| 44 内科史 | 58 蘭学史 |
| 45 皮膚科史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 46 泌尿器科史 | 60 検査 |
| 47 病院史 | 61 その他 |
| 48 病跡学 | 62 中国語文献 |
| 49 病理学史 | 63 韓国語文献 |
| 50 風俗史 | 64 欧文文献 |
| 51 仏教医学史 | |

今回は14、17、49、50、51、52、63にあたる文献はありません。

01 単行本

『宗田文庫目録 図版篇』国際日本文化研究センター
 『日本臨床検査医学会50周年記念史』日本臨床検査医学会
 『保存資料目録 第2集』名古屋大学 大学史資料室
 会田秀介『医と石仏・庶民の治病信仰』青娥書房
 家本誠一『素問訳注 第四冊』
 石塚久郎、鈴木晃仁『身体医文化論 感覚と欲望』慶應義塾

大学出版会
 伊藤全『漢和韓越字典瀏覽』
 浦上新一郎『和気の医療史 資料編』
 浦上新一郎『和気の医療史 通史編』
 江川義雄『廣島縣醫人傳 第1-3集』
 岡田靖雄『日本精神科医療史』医学書院
 加藤鉦治『名古屋大学最初の外国人教師—ヨングハンス先生
 とローレツ先生—』名古屋大学大学史資料室
 川上武『戦後日本病人史』農村漁村文化協会
 川部裕幸『離島の民族における地域性と中央文化—新潟郡軒
 粟島の疱瘡習俗を事例として—』(株)雄山閣
 厚生労働省大臣官房統計情報部『国際疾病分類腫瘍学 第3
 版』
 古西義麿『緒方洪庵と大坂の除痘館』東方出版
 酒井シヅ『病が語る日本史』講談社
 榊原悠紀田郎『歯科保健医療小史』医歯薬出版
 新村拓『痴呆老人の歴史』法政大学出版局
 杉本つとむ『江戸の阿蘭陀流医師』早稲田大学出版部
 坪井良子『日本における義肢装着者の生活援護史研究』風間
 書房
 津山洋学資料館友の会『20年のあゆみ』
 豊橋市医師会史編集委員会(編)『豊橋市医師会史 第六巻』
 長崎県立長崎図書館『幕末・明治期における長崎居留地外国
 人名簿1』

中村光夫『疱瘡の神仏』
 日本獣医史学会『日本の獣医学の発展に貢献した人々』
 日本大学医学部同窓会『醫の散歩路』
 深瀬泰旦『天然痘根絶史—近代医学勃興期の人びと—』思文
 閣出版
 古川明『医学と薬学のシンボル』医歯薬出版
 松木明知『華岡青洲の新研究』

02 医学切手・書画

「101年前のドイツ留学生の絵葉書—プレスラウの今昔比較
 (抄)」石田純郎、小田皓二『日本医史学雑誌』48(3)358-
 359
 「赤十字物語(8)」小野公義『STETHOSCOPE』(168)11-16
 「切手で医学散歩〈193~240〉」金山知新『Medical Tribune』
 35(1-52)
 「目でみる漢方史料館(163)丹波敬三・緑川父子の神農画・
 賛」小曾戸洋『漢方の臨床』49(1)2-4
 「目でみる漢方史料館(165)狩野芳崖『龍に鍼をする馬師皇』
 図」小曾戸洋『漢方の臨床』49(3)322-324
 「はしか絵「麻疹養生傳」」酒井シヅ『CLINICIAN』49(1)
 4-9
 「切手によるコペルニクスの生涯2-3」佐久間正人『STETH-
 OSCOPE』(168,170)4-10,6-11
 「絵葉書にみる緒方病院(抄)」寺畑喜朔『医譚』(78)38

「切手が語る医学 (No. 21) 【赤十字切手②】」古庄弘典『鹿児島市医報』41(3)69

「切手が語る医学 (No. 22) 乳幼児教育・予防接種・それを発見した偉大な医学者」古庄弘典『鹿児島市医報』41(4)111

「目でみる漢方史料館 (168) 臓腑神農像」真柳誠『漢方の臨床』49(6)738-740

「吉益東洞と後藤良山の書—旧山崎藩医・安原家遺品 その1-4—」宮崎綾子『漢方の臨床』49(2, 4-5, 9)272-276, 576-580, 704-709, 1228-1234

03 医学教育

「達生園門生録 附醇生庵探領伝授録」について」梶谷光弘『日本医史学雑誌』48(2)267-296

「新潟県における医学教育前史 (抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』48(3)323-325

「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大の医学教育改革 (3)」小竹英夫『北海道医報』(986)60-61

「歴史の足跡 北海道の医学教育 医学教育改革についてのいくつかの意見」小竹英夫『北海道医報』(987)32-33

「歴史の足跡 北海道の医学教育 医学教育改革はすんなりいくのか 札幌医大教官氏名 (1)」小竹英夫『北海道医報』(988)20-21

「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大教官氏名 (2)」小竹英夫『北海道医報』(989)30-31

「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大教官氏名 (3) マッチング・プログラムとは？」小竹英夫『北海道医報』(990)34-35

「歴史の足跡 北海道の医学教育 和田心臓移植とその反応 (1-2)」小竹英夫『北海道医報』(991-992)28-29, 38-39

「歴史の足跡 北海道の医学教育 和田心臓移植とその反応 (3) 札幌医大の学園紛争 (1)」小竹英夫『北海道医報』(993)38-39

「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大の学園紛争 (2, 3)」小竹英夫『北海道医報』(994-995)38-39, 28-29

「歴史の足跡 北海道の医学教育 札幌医大の学園紛争 (4) 複数の教授を擁する講座の数字による呼称と教授名を冠する呼称 (1)」小竹英夫『北海道医報』(996)30-31

「歴史の足跡 北海道の医学教育 複数の教授を擁する講座の数字による呼称と教授名を冠する呼称 (2) 旭川医大の新設 (医大設立ラッシュ) (1)」小竹英夫『北海道医報』(997)30-31

「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医大の新設 (医大設立ラッシュ) (2)」小竹英夫『北海道医報』(998)26-27

「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医大創設準備室の活動 (1-4)」小竹英夫『北海道医報』(999-1002)28-29, 72-73, 34-35, 26-27

「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医大設置の予備審査と本審査 (1-2)」小竹英夫『北海道医報』(1003-1004)28-

29, 26-27

「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医大設置遅延ののち、
やっと開学」小竹英夫『北海道医報』(1005)32-33

「歴史の足跡 北海道の医学教育 文部省、新設医大(医学
部)の入試につき全国紙に案内広告を出す 旭川医科大学
学則(1)」小竹英夫『北海道医報』(1006)20-21

「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医科大学学則(2-3)」
小竹英夫『北海道医報』(1007-1008)28-29, 26-27

「資料・石川県甲種医学校講義録 付・第四高等学校医学部
講義録」寺畑喜朔『北陸医史』23(1)48

「医学館で行われた口科考試について」戸出一郎、別部智司、
雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』24(3)167-175

「医学館における医学考試について(一、二)」戸出一郎『日
本医史学雑誌』48(1-2)3-30, 185-204

「最後の高等学校(その二)(抄)」水川秀海、嶋村昭辰『日本
医史学雑誌』48(3)464-465

04 医学用語

「整形外科分野で使われる用語・その69」木村専太郎『臨床
整形外科』37(6)742-743

「脾の語源について(2)」土屋涼一『胆と脾』23(5)405-412

「臓器名“pancreas”の由来について」土屋涼一『日本外科学
会雑誌』103(2)264

「お薬の名前の由来 メチルアルコールとメチオニン」星和

夫『東京都病院薬剤師会雑誌』51(2)119

05 医師会・学会

「十五年戦争と日本医学会総会」昉昭三『北陸医史』23(1)
11-20

「十五年戦争と日本内科学会総会」昉昭三『15年戦争と日本
の医学医療研究会会誌』2(2)15-21

「十五年戦争と日本民族衛生学会(協会)(抄)」昉昭三『日本
医史学雑誌』48(3)346-347

「心理学史の中の日本心理学会 日本心理学会設立75年を記
念する」大山正、サトウタツヤ、高砂美樹、詫摩武俊、大
村政男、東洋、山本多喜司、苧阪直行『日本心理学会
66回大会発表論文集』15

「第26回世界獣医学大会」出席報告・他(抄)勝山脩『日
本獣医史学雑誌』(39)67-69

「21世紀の職業・災害医学指針 災害医学会の歴史を顧みて」
鎌田武信『日本職業・災害医学会会誌』50(2)67-70

「日本薬学会史年表(続)1996~2000年」日本薬史学会・日本
薬学会史年表作成委員会『ファルマシア』38(1)91-101

「日本消化器外科学会 草創期・現在・将来」松元由朗『日本
消化器外科学会雑誌』35(7)839

「精神医学関連学会歴史と最近の動向 日本神経化学会 そ
の歴史と展望」御子柴克彦『最新精神医学』7(3)273-280

「日本小児科学会京都地方会沿革史一祖父宗淳の記録、保存

資料より一」三宅宗純『啓迪』(20)48-54

「日本医史学会と日本歯科医史学会 (抄)」谷津三雄『日本医史学雑誌』48(3)326-327

06 医史学一般

「ベルリン医史学博物館とソウル大学校医科大学医学博物館 (抄)」石田純郎『医譚』(78)35

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 43 木下正中の業績」石原力『日医ニュース』(968)4

「故松原三郎博士遺品中の一文書、イディッシュ語で書かれた医史学史料」泉彪之助、正橋剛二『日本医史学雑誌』48(4)541-573

「古典あれこれ 幕末から明治初期における日本とフランスの関係—第1-3部—」犬山征夫『JOHNS』18(7-9)1286-1291, 1432-1439, 1664-1669

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 46 IgEの発見 石坂公成」今井浩三『日医ニュース』(972)4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 53 腎移植の夜明け」太田和夫『日医ニュース』(980)4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 44 コンタクトレンズの変遷」奥沢康正『日医ニュース』(969)4

「医学資料の保存と管理 (抄)」小田皓二『医譚』(78)22

「老化の話 老年学と長寿科学 日本におけるその歴史と現状」折茂肇『老年精神医学雑誌』13(3)315-320

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 55 乳がん手術の30年の展開」霞富士雄『日医ニュース』(982)4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 50-51 病理学者 川村麟也の恙虫病研究 (一) (二)」蒲原宏『日医ニュース』(977-978)4

「バイオフィクター研究のブレイクスルー 微量元素・ミネラル栄養素としてのセレンと発見の歴史」木村美恵子『ビタミン』76(1)3-5

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 49 佐々木隆興と佐々木研究所」黒川雄二『日医ニュース』(976)4

「『古事記』の中の身体に関わる表現 (抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』48(3)416-417

「医学資料の保存と管理 究理堂文庫の場合 (抄)」小石秀夫『医譚』(78)21-22

「飛鳥京庭園跡出土木簡「西州統命湯」の出典について (抄)」小曾戸洋、真柳誠『日本医史学雑誌』48(3)328-329

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 45 誇るべき奇人 仁木謙三」小高健『日医ニュース』(971)4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 52 三田村篤志郎と日本脳炎」小高健『日医ニュース』(979)4

「戦後日本の外国人医師導入—導入プロセスと認識を中心に (抄)」今野卓美『日本医史学雑誌』48(3)458-459

「『痛み』について 歴史的考察」酒井明夫『精神医学』44(7)706-713

- 「音楽と生体の歴史3 音楽の肉体的な医療効果を認識していたギリシャの人たち」酒井シヅ『KISSEIKUR』20(1)17
- 「音楽と生体の歴史4 呪術的世界に逆戻りした音楽療法の「暗黒時代」」酒井シヅ『KISSEIKUR』20(2)17
- 「音楽と生体の歴史 近代的音楽療法へのステップ 終戦前後のアメリカにおける研究」酒井シヅ『KISSEIKUR』20(3)17
- 「スペシャルトーク どうなにも医学が進歩しても、人々の病気を恐れる気持ちには変わりはありません。」酒井シヅ『REALTY TIME』(252)2-3
- 「医療史回遊紀行 介護保険と奈良時代の福祉制度」篠田達明『GPnet』49(5)68-69
- 「「ホロコースト」と「戦犯裁判—医師・親衛隊・企業家の関係をめぐる一覚書—」芝健介『科学医学資料研究』30(6)103-115
- 「田中良之『古墳時代親族構造の研究—人骨が語る古代社会』」白崎昭一郎『福井県医師会だより』(493)48-50
- 「間壁葦子『古代出雲の医薬と鳥人』」白崎昭一郎『福井県医師会だより』(495)30-31
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 56 ホルモンの発見」末廣雅也『日医ニュース』(983)4
- 「医学資料の保存と管理 (抄)」杉立義一『医譚』(78)22
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 66 心臓冠状動脈バイパス術 (その二)」鈴木章夫『日医ニュース』(996)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 61 ペースメーカーの発展と日本の研究開発」須磨幸蔵『日医ニュース』(990)4
- 「日本におけるファン・スウィーテン水の受容」高橋文『日本医史学雑誌』48(4)575-595
- 「医学資料の保存と管理 古書、文献など医学遺産継承者の特殊性について (抄)」田中祐尾『医譚』(78)20-21
- 「日本の敗戦直前後の医事雑誌と発刊事情 (抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』48(3)380-381
- 「U.S. National Library of Medicine 蔵書日本古医書整理開始の経緯」Doherty 後藤喜子、酒井シヅ(監修)『医学図書館』49(4)364-367
- 「医学資料の保存と管理 (抄)」仲田永造『医譚』(78)22
- 「15年戦争末期における『東北—純農村の医学的分析』の評価をめぐって」中谷敏太郎『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』3(1)38-41
- 「医史資料 江戸時代の医学・医療の足跡」長与建夫『現代医学』49(3)489-492
- 「列島の医学史」橋口邦夫、橋本賢二『医学のあゆみ』201(6)440-443
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」について (第4報)」秦温信、松岡仲一、関谷千尋、佐野文男、島田保久、鯨島夏樹『第27回札幌市医師会医学雑誌』3-4
- 「日本人の起原 顔面形態を中心として」埴原和郎『歯科審美』

14(2)235-243

「飛見家蔵の医学資料とその保存管理」飛見立郎『北陸医史』
23(1)43-44

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 54 MRSA」平
松啓一『日医ニュース』(981)4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 60 アトピー性
疾患」深瀬泰旦『日医ニュース』(987)4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 58 百年前に始
まった高血圧の歴史」藤井潤『日医ニュース』(985)4

「身体の政治学：病いと言説」ポーター・ロイ『科学医学資料
研究』(329)2-16

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 62 エイズの台
頭」松本孝夫『日医ニュース』(991)4

「旧約聖書と訳過程における鳥類名称の取扱について (抄)」
水谷維紗久『日本医史学雑誌』48(3)408-409

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 47-48 西塚泰美
先生とタンパク質燐酸化酵素 (一) (二)」山村博平『日医
ニュース』(973, 975)4

07 医の倫理

「優生思想・優生保護法等の歴史と将来」品川信良『日本ハ
ンセン病学会雑誌』71(1)66

「医療と世界をめぐって〈てつがく〉するフーヘランドの〈医
の倫理〉」野田茂徳『新医療』29(8)166-167

08 医療器械

「医療こぼればなし 心電図の歴史」笹壁弘嗣『看護実践の
科学』27(8)47

「医療こぼればなし 聴診器の発明」笹壁弘嗣『看護実践の
科学』27(1)55

「消化器内視鏡学の過去・現在・未来」鈴木茂『東京女子医科
大学雑誌』72(1)48-58

「消化管内視鏡の発展を辿る その六 内視鏡学会の設立と
V型胃カメラ」丹羽寛文『ミクروسコピア』19(3)213-218

「消化管内視鏡の発展を辿る その七 Va型胃カメラと紫
外線胃カメラ」丹羽寛文『ミクロスコピア』19(4)292-299

「大腸内視鏡の歴史と展望」丹羽寛文『日本消化器内視鏡学
会雑誌』44(臨増)369

「心臓超音波医学事始」松尾裕英『THE CIRCULATION
FRONTIER』6(1)64-68

「心電図肢誘導測定用コードの歴史とその変遷についての考
察」間藤卓『LiSA』9(9)922-924

09 医療制度史・医療史

「医療は文化である 国保旭中央病院資料館」赤坂守保『全
国自治体病院協議会雑誌』(407)542-543

「我が国における健康政策パラダイムの史的特質と問題点」
金田治也『園田学園女子大学論文集』3741-56

「明治時代に“らい予防法”を批判し、患者の写真を残した医

- 師」菊池一郎『皮膚科の臨床』44(1)27-30
- 「公衆衛生福祉局 (GHQ/SCAP、PHW) の成立と占領政策 (2)」金蘭九『九州看護福祉大学紀要』4(1)167-178
- 「我国の薬害と行政対応の歴史的経過」古泉秀夫『薬事新報』(2203, 2229)268-270, 33-35
- 「創設から占領開始前までの日本・アメリカ・国際赤十字の歴史的推移 公衆衛生福祉局の連携組織となった要因を探る」城丸瑞恵、中谷千鶴子『日本医療経済学会会報』(64)1-17
- 「医療費個人負担の歴史」杉本誠起『因島総合病院医学雑誌』83-5
- 「農村医学の発展—「農夫症」をめぐる(抄)」杉山章子『日本医史学雑誌』48(3)460-461
- 「江戸時代の化粧と医療—『容顔美艶考』と『都風俗化粧伝』分析を中心に(抄)」鈴木則子『日本医史学雑誌』48(3)418-419
- 「江戸時代における医師の試験(口科之部)について」関根透、軽部裕代、佐野祥平、北村中也『日本歯科医療管理学会雑誌』36(4)320-325
- 「彌性園蔵 幕末期の診療録(抄)」田中祐尾『日本医史学雑誌』48(3)476-477
- 「資料・植民地時代の東南アジア各地の医療制度—英国領馬來半島における医療制度」寺畑喜朔『医譚』(78)11-15
- 「関東大震災と関西医師団」中西淳朗『啓迪』(20)19-28

- 「明治初年の大阪府医療行政制度確立期の一齣 摂津国(豊崎県)巡廻医師制度について」松田武『医譚』(78)35-38
- 「岩ヶ崎接種結核事件に関するGHQ文書について(抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』48(3)456-457

10 衛生・公衆衛生史・予防医学

- 「『養生訓』に学ぶ長寿社会の生き方」貝原信明『モダンメディア』48(5)122-127
- 「職域におけるリスクマネジメント リスクの歴史的変容」日下幸則『産業衛生学雑誌』44(増刊)128-129
- 「19世紀英国の公衆衛生に関する年表」上坂良子『看護歴史研究』143-50
- 「公衆衛生の法制化過程とその周辺について—19世紀の英国—」上坂良子『看護歴史研究』151-53
- 「HISTORY ワクチンの話(第1-2回)」酒井シヅ『BIO Clinica』17(12, 14)1126-1127, 1308-1311
- 「らい予防法の歴史と医療界の責任」高橋喜成『地域医学』16(10)670-674
- 「戦時下、炭鉱の労働事情と労働者の健康」東田敏夫『医学史研究』(82)15-24
- 「幕末期北辺警備の武士が残したもの その労働衛生上の位置付け」古屋統、宮下俊一『産業衛生雑誌』44(増刊)461

11 解剖学史

- 「病體解剖社」石出猛史『千葉医学雑誌』78(1)7-14
- 「解體新書の謎⑤-⑨」大城孟『大塚薬報』(575-579)61-64, 61-64, 59-62, 59-62, 57-61
- 「“シャレコーベは語る” 29. 骨仏」河本圭司『いずみ』49(1)8-9
- 「“シャレコーベは語る” 30. 絵画：メメント・モリ」河本圭司『いずみ』49(2)8-9
- 「“シャレコーベは語る” (完)31. 日本画—浮世絵」河本圭司『いずみ』49(3)8-9
- 「腎臓の探求史 マルピギーの腎臓研究」坂井建雄『腎臓』24(3)151-157
- 「腎臓の探求史 マルピギーからポーマンまで」坂井建雄『腎臓』25(1)37-43
- 「ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究—筋系を例にとって (抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』48(3)428-429
- 「フォルヘー・コイターの解剖学—研究対象の指定をめぐる (抄)」澤井直『日本医史学雑誌』48(3)432-433
- 「明治初期の解剖書 日本で最初の系統解剖学教科書、解剖実習書及び組織学教科書とは」島田和幸『解剖学雑誌』77(1)1-6
- 「ガスパール・ポーアン “Theatrum Anatomicum” について (三)—De Corporis Humani Fabrica Libri IIII (1590) の分析 (抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』48(3)430-431

- 「レオナルド解剖手稿の心臓記述に関する年代的考察 (第二報) (抄)」永田和弘『日本医史学雑誌』48(3)436-437
- 「網内系はもうないか その一 清野謙次と生体染色」和気健二郎『ミクروسコピア』19(2)103-107

12 眼 科 史

- 「斜視・弱視研究と治療法の発達 歴史的展開」粟屋忍『日本眼科学会雑誌』106(臨増)77
- 「神経眼科学の発展 歴史的展開」石川哲『日本眼科学会雑誌』106(臨増)73
- 「眼内血管病変の病態研究と治療法の発達 脈絡膜・視神経乳頭循環研究の歴史」小椋祐一郎『日本眼科学会雑誌』106(臨増)75
- 「戦後の視覚障害原因の推移と医療の対応 (抄)」高林雅子『日本医史学雑誌』48(3)462-463
- 「視細胞と色素上皮細胞の病態研究と治療法の発達 治療法の変遷と厚生省特定疾患調査研究班としての本症に対する取り組みの歴史」玉井信『日本眼科学会雑誌』106(臨増)68
- 「眼科関連雑誌の歴史」千葉彌幸『千葉医学雑誌』78(1)35-39
- 「流出路手術の歴史的考察」永田誠『緑内障』12(臨増)52-53
- 「眼内炎症の病態研究と治療法の発達 眼内炎症の概念の歴史的移り変わり」望月學『日本眼科学会雑誌』106(臨増)46
- 「20世紀における眼科学の総括 手術治療 20世紀における緑内障手術改良の歴史」山本哲也『Frontiers in Glau-

coma』3(3)183-184

「緑内障の病態研究と治療法の発達 手術治療 20世紀における緑内障手術改良の歴史」山本哲也『日本眼科学会雑誌』106(臨増)62

「シーボルト記念館所蔵の点眼筐の調査報告—伊東昇廻がシーボルトから贈られた点眼筐—」米田該典『鳴滝紀要』(12)16-29

13 看護史

「看護のための「いのちの歴史の物語」(18.最終回)」浅野昌充、菅野真理、神庭純子『総合看護』37(3)21-29

「“American Journal of Nursing”の記事にみる二〇世紀の日本の看護(抄)」大石杉乃『日本医史学雑誌』48(3)372-373

「初期ナイチンゲール看護学校の入学生の教育背景」春日広美『看護歴史研究』123-28

「ナイチンゲール時代の英国女性解放運動」佐藤淑代『看護歴史研究』117-22

「GHQによる戦後の看護教育カリキュラムの成立と経緯(抄)」佐藤公美子、坪井良子『日本医史学雑誌』48(3)370-371

「福島県のリハビリテーション及び看護の歴史の変遷と今後の展望」高橋信子『福島県立医科大学看護学部紀要』(4)33-44

「ナースとデイサージェリー ショートステイサージェリー—デイサージェリーとショートステイサージェリーの歴史と最近の進歩」長尾二郎、炭山嘉伸『オペナーシング』17(2)154-157

「創傷管理チームによる創傷回診 その歴史と看護師の役割」西島美佳、千原和美、石田まり、花田ひとみ、千原真奈美、東田初恵、遊田伊玖子、浅生義人、中村義徳『褥瘡学会誌』4(2)213

「ナイチンゲールによる看護改革と英国国教会」平尾真智子『看護歴史研究』129-38

「大正四年看護婦規則制定以前に使用されていた看護婦の名称について(抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』48(3)368-369

「看護のための「いのちの歴史の物語」」本田克也、加藤幸信、菅野真理『総合看護』37(2)49-54

「海外の看護教育 南アフリカ共和国における看護及び看護教育の歴史の変遷」山本千恵子、岩本睦恵、松元博子、マーナ英子『看護教育』43(10)860-863

15 大学史・教室史

「函館医学校記録(抄)」石崎達『神奈川医学会雑誌』29(1)98-99

「旧愛知県立医学専門学校・愛知病院の正門遺構の保存について」木方十根『名古屋大学史紀要』(10)23-48

「ケーニヒスベルグ大学と大阪大学 (生化学で結ばれる橋) (抄)」柴田幸雄『日本医史学雑誌』48(3)444-445

「薄命の慶応義塾獣医畜産専門学校」白井厚『日本獣医史学雑誌』(39)1-13

16 軍陣医学史

「陸軍航空医学 (抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』48(3)344-345

18 外科史

「下垂体外科の歴史」景山直樹『脳と神経』54(7)565-573

「Damage Control Surgery の歴史」小林国男『日本外科学会雑誌』103(7)500-502

「日本人の乳房観」酒井シヅ『Mamma』(43)表2

「臨床病期の分類と予後」酒井シヅ『Mamma』(42)表2

「美容外科の薦め (その1) 美容外科誕生」塩谷信幸『日本美容外科学会会報』24(1)17-18

「外科感染症の歴史と将来展望」炭山嘉伸『日本化学療法学会雑誌』50(Suppl. B)40

「機能的定位脳手術の歴史と最近のトピックス」平孝臣『地域救急災害医療研究』1(3)71

「華岡青洲が全身麻酔薬を使って行った乳癌手術を欧米に紹介したのは誰か? (抄)」高橋均『日本医史学雑誌』48(3)472-473

「失楽園 トロントー日本心臓血管外科の伝統の40年 (Paradise Lost-40 Years of Toronto-Japan Cardiovascular Surgical Heritage) (英文)」Trimble Alan S.『The Japanese Journal of THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY』50(臨増)179

「125歳になった日本の頭蓋脳外傷の外科」中村紀夫『神経外傷』25(1)1-6

「新に確定された青洲の乳癌患者三名の死亡年月日」松木明知『日本医史学雑誌』48(2)175-184

「新たに確定した「乳巖姓名録」中の患者二三名の歿年月日について (抄)」松木明知『日本医史学雑誌』48(3)474-475

「華岡青洲の「乳巖姓名録」の研究 個別の症例記録との比較検討」松木明知『日本医史学雑誌』48(1)53-65

「温故知新 わが国の血管外科」三島好雄『日本血管外科学会雑誌』11(2, 7)158, 671-679

19 細菌学史

「ヒトの腸内菌叢 先駆的科学家への賛辞」Savage Dwayne D.『腸内細菌学雑誌』15(2)97-114

「医療分野の細菌分類の歴史と現状」江崎孝行『Current Concepts in Infectious diseases』21(1)6-9

20 産婦人科史

「助産婦の歴史 近代の助産婦 (その191-202)」石原力『ペ

リネイタルケア』21(1-12)62-63, 156-157, 244-245, 316-317, 442-443, 516-517, 618-619, 716-717, 806-807, 874-875, 998-999, 1066-1067

「本邦最初の帝王切開術」倉山英三郎『千葉県医師会雑誌』54(2)252-253

「鍼灸書における婦人病証—漢代から唐代まで(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』48(3)394-395

「産婦人科散歩 <5> 産科革命をした Sir. James Young Simpson (1811-1870)」酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』15(1)28-29

「産婦人科散歩 <6> 免疫の寛容現象を発見した Sir Peter Brian Medawar (1915.2.28-1987.10.2)」酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』15(2)28-29

「受胎調節の歴史(抄)」野末悦子『神奈川医学会雑誌』29(2)262-264

21 歯 学 史

「王朝文学時代の歯科医療(抄)」東智『日本医史学雑誌』48(3)420-421

「日本大学歯学部創設者佐藤運雄先生の医術・歯科医術開業免状について(抄)」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹『日本医史学雑誌』48(3)452-453

「石塚三郎旧蔵・新潟県歯科医師会日誌—草創期の歯科界を探る(抄)」佐藤泰彦『日本医史学雑誌』48(3)448-449

「歯科麻酔学の書誌学的研究—薬液電透術(明治31年刊)について—(抄)」渋谷鉦、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』24(3)212-213

「解体新書以降の医歯学書に見られる歯科用語の変遷(抄)」嶋村昭辰、小林繁、上瀉口武『日本医史学雑誌』48(3)438-439

「陸軍で用いられた歯科嚢と歯科機械(抄)」下総高次『日本医史学雑誌』48(3)466-467

「十九世紀中期の日本と西欧の義歯の比較(抄)」新藤恵久『日本医史学雑誌』48(3)426-427

「全国の「歯の塚」等に関する調査研究」杉本是孝、中山孝子『日本歯科医史学会々誌』24(3)176-183

「歯科医史学と色彩学の関連性の考察(抄)」陶粟爛、西巻明彦『日本医史学雑誌』48(3)468-469

「接着歯学 その歴史と将来展望 (Adhesive Dentistry: History and Future Perspective in Dentistry) (英文)」Nakabayashi N.『接着歯学』19(4)235

「観察窓における表現方法の変化に関する考察(その2)(抄)」西巻明彦、陶粟爛『日本歯科医史学会々誌』24(3)211-212

「『口歯類要』における歯痛に関する考察(抄)」西巻明彦、寺師睦宗『日本医史学雑誌』48(3)384-385

「歯科医学教育史資料研究③—京北歯科医学校と東北歯科医学校—(抄)」樋口輝雄、中原泉『日本歯科医史学会々誌』24(3)219

「仏の三十二相と歯科医学」日高三郎『日本歯科医史学会々誌』24(4)321-326

「Jack Dresch の補綴学への貢献について (抄)」平田幹男『日本医史学雑誌』48(3)424-425

「日本における有史前から現代までの象牙質齲蝕疾患の歴史的变化 (Historical Change of Dental Carious Lesions from Prehistoric to Modern Times in Japan) (英文)」Fujita Hisashi 『歯科基礎医学会雑誌』44(2)87-95

「ジョン M. リッグズと歯周病治療に関する研究 (その2) リッグズ著『歯肉の化膿性炎症および歯肉・歯槽突起の吸収』の和訳」牧野信之、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』24(3)184-188

「江戸幕府の口科医の動向について1」松本康博『日本歯科医史学会々誌』24(4)327-331

「歯牙形態の地域及び年代的変異に基づく日本列島における人類集団の歴史 (Population History in the Japanese Archipelago Based on Regional and Temporal Variations of Dental Morphology) (英文)」Manabe Yoshitaka, Kitagawa yoshikazu, Oyamada Joichi, Rokutanda Atsushi 『DENTISTRY IN JAPAN』389-16

「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 連載開始にあたって」本平孝志、内藤達郎、安藤嘉明『Quintessence of Dental Technology』27(4)499-504

「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 歯科

医学史概論をのぞく (世界編その1-2)」本平孝志、内藤達郎、安藤嘉明『Quintessence of Dental Technology』27(6, 8)795-804, 1056-1065

「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 歯科医学史概論をのぞく (日本編その1, 2)」本平孝志、内藤達郎、安藤嘉明『Quintessence of Dental Technology』27(10, 12)116-123, 1598-1611

「桐村克己著『歯の養生法』の原資料の疑義についての研究 (抄)」森山徳長『日本医史学雑誌』48(3)440-441

「『病草子』にあらわれた歯科疾患風俗に関する一考察」第三報 (抄)」湯浅高行、藤野瑠男、屋代正幸『日本医史学雑誌』48(3)422-423

「本学におけるシンチグラフィー 32年の歴史と現状 (抄)」若尾博美、閑野政則、鹿島勇『神奈川歯学』3750

22 史跡・記念碑

「京の解剖史跡を訪ねる」青島敏行『日本医事新報』(4058) 59-61

23 疾病史

「ビザンチン時代における小児疾患の管理 I - 鎮痛法 (Management of childhood diseases in the Byzantine period: I-Analgesia) (英文)」Ramoutsaki Ioanna A, Dimitriou Helen, Kalmanti Maria『Pediatrics International』44(3)

335-337

「ビザンチン時代における小児疾患の管理II—発疹性疾患 (Management of childhood diseases in the Byzantine period: II-Exanthematic diseases) (英文)」 Ramoutsaki Ioanna A, Dimitriou Helen, Kalmanti Maria 『Pediatrics International』 44(3) 338-340

「ビザンチン時代の小児疾患の管理III—小児呼吸器疾患 (Management of childhood during the Byzantine period: III-Respiratory diseases of childhood) (英文)」 Ramoutsaki Ioanna A, Dimitriou Helen, Markaki Erasmia-A, Kalmanti Maria 『Pediatrics International』 44(4) 460-462

「ビザンチン時代の小児疾患の管理IV—若年性糖尿病 (Management of childhood diseases during the Byzantine period: IV-Juvenile diabetes mellitus) (英文)」 Ramoutsaki Ioanna A, Dimitriou Helen, Markaki Erasmia-A, Kalmanti Maria 『Pediatrics International』 44(4) 463-464

「STD (性感染症) STD と歴史」 秋森稔 『神奈川県臨床衛生検査技師会雑誌』 37(1) 81-86

「川崎病はいつ頃日本に出現したか 文献検索による調査・研究」 麻生誠二郎、今田義夫、土屋恵司、菌部友良 『Progress in Medicine』 22(1) 299

「原著を探る 脊髄空洞症」 阿部弘 『Clinical Neuroscience』 20(12) 1428-1429

「ポストゲノム時代の糖尿病学 分子生物学のあゆみ」 荒木栄

一 『総合臨床』 51(1) 218-219

「原著を探る 群発頭痛」 五十嵐久佳 『Clinical Neuroscience』 20(1) 116-117

「原点に帰って原典を読む 症例を中心に Jakob-Creutzfeldt 病の原点と原典 注目すべき解剖所見を有する中枢神経系の独特な (奇妙な?) 疾患について (痙性偽硬化症・播種性変性巣を示す大脳脊髄症)」 池村義明 『精神科治療学』 17(1) 103-112

「水俣病の原因に関する文献的考察」 石原信夫 『産業衛生学雑誌』 44(増刊) 465

「疾病史に見る時代区分について (抄)」 小曾戸明子 『日本医史学雑誌』 48(3) 388-389

「新時代の糖尿病学 病因・診断・治療研究の進歩 糖尿病疾患概念の歴史の変遷 概論」 金澤康徳 『日本臨床』 60(増刊) 19-27

「福祉の時代の医療 こころの病」 上林茂暢 『からだの科学』 (224) 116-121

「糖尿病の歴史 インスリン発見直後のインスリン療法 Joslin の糖尿病教科書第3版より」 葛谷健 『肥満と糖尿病』 1(1) 148-151

「糖尿病の歴史 ヒトインスリン開発への競争 遺伝子組換え技術応用の始まり (2)」 葛谷健 『肥満と糖尿病』 1(3) 134-139

「糖尿病の歴史 スルホニル尿素薬の発見」 葛谷健 『肥満と

- 「糖尿病」1(4)152-155
- 「胃潰瘍 その歴史と治療のあゆみ」桑山肇『実験潰瘍』29(Suppl. 1)25-29
- 「新時代の糖尿病学 病因・診断・治療研究の進歩 糖尿病治療の歴史的展開」小坂樹徳『日本臨床』60(増刊7)57-71
- 「糖尿病のあゆみ 糖尿病の診断 診断法の歴史的な流れ」小坂樹徳『診断と治療』90(8)1336-1343
- 「熱帯医学史の中の日本の偉人たち」小林照幸『日本熱帯医学会雑誌』30(増刊)178
- 「【スギ花粉症対策2002】スギ花粉症の歴史」斎藤洋三『Modem Physician』22(2)161-167
- 「新時代の糖尿病学 病因・診断・治療研究の進歩 糖尿病死因の歴史的変遷」坂本信夫、宇野智子『日本臨床』60(増刊)72-82
- 「Pima Indiansと2型糖尿病 その歴史的背景と病態について」佐々木悠『内分泌・糖尿病科』14(4)452-468
- 「フサンの多彩な薬理作用を探る DIC(播種性血管内凝固症候群)の歴史とその今日的な理解」末松誠『医薬の門』42(4)442-446
- 「H. pylori時代の消化性潰瘍学 概論 消化性潰瘍研究の歴史」寺野彰『日本臨床』60(増刊2)5-12
- 「慢性細気管支炎 間質性肺炎との接点をめぐって 慢性細気管支炎の歴史的考察」永井厚志『呼吸と循環』50(5)445-451
- 「肺癌の診断と治療 最新の研究動向 肺癌研究の歴史的変遷 診断法」長尾啓一『日本臨床』60(臨増5)21-25
- 「日本の腎臓学黎明期 日本の腎炎・ネフローゼの臨床と研究の歴史」長澤俊彦『腎臓』25(2)114-116
- 「肺癌の診断と治療 最新の研究動向 肺癌研究の歴史的変遷 基礎研究」橋本修一、居石克夫『日本臨床』60(臨増5)13-20
- 「蕁麻疹 up to date 蕁麻疹学の回顧と展望」秀道広『Derma.』(64)1-6
- 「近代心臓病学の歴史 過去の50年(The History of Modern Cardiology: The Last 50 Years)(英文)」Fye W. Bruce『Journal of Cardiology』40(Suppl.1)71
- 「結核の文化史」福田真人『日本臨床微生物学雑誌』12(4)35-38
- 「原典・古典の紹介 Foix-Chavany-Marie症候群」古川哲雄『神経内科』56(2)191-193
- 「レトロスペクト 緊張病の拡散 カールバウムの意図したもの」細川清『こころの臨床ア・ラ・カルト』21(2)242-243
- 「血管内悪性リンパ腫症 血管内悪性リンパ腫症研究の歴史」萬年徹『神経内科』57(4)289-292
- 「発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)と関連病態 分子機構と臨床病態 発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH):歴史と病態」Rosse Wendell F.『血液フロンティア』12(8)

995-1008

24 耳鼻咽喉科史

- 「Czermak と Turck 間の咽頭鏡検査についての論争の発端」飯田収『JOHNS』18(10)1814-1817
- 「古典あれこれ 耳垢小見 16 (結)一乾湿耳垢の組成一」飯沼壽孝『JOHNS』18(1)114-117
- 「突発性難聴の歴史」中島務『耳鼻咽喉科展望』45(2)98-104
- 「頭位めまいの治療根拠となった耳石代謝の発見」原田康夫『ミクروسコピア』19(4)277-284
- 「古典あれこれ ステノンかステンセンか？」廣瀬肇『JOHNS』18(11)1950-1953

25 種痘史

- 「池田文書からみたお玉が池種痘所開設の前夜 (抄)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』48(3)478-479
- 「Mohnike and Vaccination: Deshima-doctor in the Wake of Von Siebold」Harmen Beukers『日本医史学雑誌』48(1)152-131
- 「中川五郎治がシベリアから将来したロシア語牛痘種痘書についての一考察」松木明知『科学医学資料研究』(330)1-18

26 獣医学史

- 「日本における軍用鳩の歴史」植松文雅『日本獣医学雑誌』

(39)49-58

- 「遅れた犬糸状虫症の予防研究とその成功 (抄)」黒川和雄『日本獣医学雑誌』(39)65-67
- 「嘉永六年銘 横田三平の義狗墓」小佐々学『日本獣医学雑誌』(39)41-48
- 「青森県二つ森貝塚のフラスコ状土坑底から出土した縄文犬骨の考古学的意味」小宮孟『千葉県立中央博物館研究報告』7(2)37-58
- 「明治獣医の裏囁 (抄)」白水完児『日本獣医学雑誌』(39)64
- 「わが国における犬の狂犬病の流行と防疫の歴史」唐仁原景昭『日本獣医学雑誌』(39)14-30
- 「犬防考」中井薫『日本獣医学雑誌』(39)72-76
- 「絵巻物にみる中世獣医史料 (7)」中井薫『日本獣医学雑誌』(39)59-63
- 「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 解剖・生理学の夜明け」西田利穂『SA Medicine』4(2)94-99
- 「動物の生理学クロニクル 血圧調節と高血圧 ルネサンスと解剖学の夜明け前」西田利穂『SA Medicine』4(1)49-53
- 「『徳川実紀』に見る馬にかかわる記述について」濱學『日本獣医学雑誌』(39)31-40
- 「スネイプ『馬体解剖学』(英文)一六八三年について (抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』48(3)434-435

27 書 簡

- 「池田文書の研究 (二十四)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』48(4)637-647
- 「史料「故 Jo. Ad. クルムス博士の手稿からの抜粋」」石田純郎『日本医史学雑誌』48(1)90-103
- 「高岡長崎家伝蔵書簡の研究 (四)」正橋剛二『北陸医史』23(1)30-37
- 「ファオン・ブランデンシュタイン家所蔵、1822年シーボルト関係書簡の翻刻並びに翻訳 (2)」宮坂正英、ヘルント・ノイマン、石川光庸『鳴滝紀要』(12)30-100
- 「初代厚生大臣木戸幸一自筆の血脇守之助への書簡 (委員委嘱状) (抄)」山岸徳太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本医史学雑誌』48(3)450-451

28 書 誌 学

- 「野口英世著「Serum Diagnosis of Syphilis」(一九一〇初版)の出版とその経緯について (抄)」会田恵『日本医史学雑誌』48(3)446-447
- 「『医断』・『斥医断』(抄)」青山廉平『漢方医薬新聞』(303)4
- 「〔資料〕藤本純吉記「老烈氏方叢」赤祖父一知、今井美和『北陸医史』23(1)1-8
- 「龍谷大学蔵写字台文庫の医書類」猪飼祥夫『医譚』(78)23-25
- 「〔慶応三丁卯年正月 日記 侍医局〕について」梅溪昇『啓

迪』(20)11-18

- 「医史学『黄帝蝦蟇経』臨模本の価値」浦山きか『鍼灸OSAKA』17(4)408-419
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈 (24-29)」大塚賢治、渡辺洋井『漢方の臨床』49(6-10, 12)769-775, 913-926, 1068-1078, 1167-1183, 1311-1324, 1708-1715
- 「製本おそるべし—『神経学雑誌』のばあい (抄)」岡田靖雄、小峯和茂『日本医史学雑誌』48(3)378-379
- 「読解『方伎雑誌』(尾山榕堂) その十九」笠原栄司『漢方の臨床』49(8)1079-1086
- 「文書資料目録における資料表記方法の問題点—『名古屋大学史学史料室保存資料目録』を事例として—」神谷智『名古屋大学紀要』(10)49-68
- 「『宝要抄』」古泉圓順『杏雨』(5)1-114
- 「関寛斎「御容体心覚」」芝木秀哉『日本医史学雑誌』48(1)81-89
- 「『おもろさうし』の中の医学」白崎昭一郎『北陸医史』23(1)38-42
- 「浅田宗伯『橘窓書影』」白崎昭一郎『福井県医師会だより』(492)18-19
- 「『維摩経』にみる医の心 (抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』48(3)336-337
- 「『医学天正記』について (三)」高島文一『啓迪』(20)6-10
- 「言語学者、宇田川榕菴の稿本『六の緒』」高橋輝和『一滴』

- (9)1-14
「洗心文庫目録二〇〇二年」武田科学振興財団杏雨書屋『杏雨』(5)250-304
「『祝寿編』と『奉觴篇』—後藤養庵・香川修庵の六十賀集—」丹治比郁夫『杏雨』(5)210-247
「吉益東洞『医方古言』攷(抄)」館野正美『日本医史学雑誌』48(3)402-403
「山田業広著『金匱要略集注』訓読(23)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』49(3)397-405
「『重訂解体新書』所引の中国書籍の研究(医書について)(抄)」陶恵寧『日本医史学雑誌』48(3)410-411
「『重訂解体新書』所引の中国書籍の研究—『医学原始』と『物理小識』について」陶恵寧『日本医史学雑誌』48(2)155-174
「三輪愿『葉真途異語』と三輪試『大和医語』(抄)」友部和弘、小曾戸洋『日本医史学雑誌』48(3)412-413
「目でみる漢方史料館(166) 幻の入江流鍼術書の出現」長野仁『漢方の臨床』49(3)458-460
「森立之・神農本草経における「久服」の記載について」中村成代、飛奈良治、小根山隆祥『漢方の臨床』49(4)539-547
「『異本病草紙』について」服部瑛『Visual Dermatology』1(1)98-104
「異本病草紙の伝本に就いて」林美朗『日本医史学雑誌』48(1)67-79
「手塚良斎「医学所御用留」(五)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』48(4)648-653
「『本草品彙精要』ローマ本・大塚本・ベルリン本の成立関係」真柳誠『漢方の臨床』49(9)1207-1220
「台湾訪書志 I 故宮博物館所蔵の医薬古典籍(1-8)」真柳誠『漢方の臨床』49(1-3, 5-7, 10-11)141-161, 283-289, 422-442, 711-716, 839-849, 972-980, 1365-1372, 1507-1515
「目でみる漢方史料館(170) 北京大学図書館所蔵の日本旧蔵古医籍三点」真柳誠『漢方の臨床』49(8)1002-1004
「目でみる漢方史料館(171) 『本草品彙精要』ローマ本・大塚本・ベルリン本」真柳誠『漢方の臨床』49(9)1130-1133
「目でみる漢方史料館(172) 金沢文庫の医学古文書」真柳誠『漢方の臨床』49(10)1258-1260
「ハノイ現存古医籍の特徴(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』48(3)382-383
「目でみる漢方史料館(172) 金沢文庫の医学古文書」真柳誠『漢方の臨床』49(10)1258-1260
「『雲庵抄』について(抄)」宮川浩也『日本医史学雑誌』48(3)334-335
「田代和生著『江戸時代朝鮮薬材調査の研究』へのコメント—科学史の立場から提出されている史料を読む」山田慶兒『日本医史学雑誌』48(4)617-636
「『療難百則』(尾田榕堂著)について」横田観風『漢方の臨床』49(3)391-396

「『甲乙経』における刺入深度・呼数の一考察 (抄)」吉岡広記
『日本医史学雑誌』48(3)392-393

29 小児科史

「小児集中治療 過去、現在及び将来 (Pediatric Intensive Care: Past, Present and Future) (英文)」Barker Geoffrey A. 『日本集中治療医学会雑誌』9(1 Suppl.)68-69

「近代小児外科の暁とそれを可能にした人 (The Dawn of Modern Paediatric Surgery and the Who Made It Possible)」Rickham P.P 『日本小児外科学会雑誌』38(1)21-33

「古きヨーロッパの育児習慣と伝統 新生児の世話 (2)」入来典 『チャイルドヘルス』5(1)40-42

「SIDS と医師」上野陽里 『医学史研究』(82)32

「19世紀イギリスの子どもの状況」温忍 『看護歴史研究』139-42

「抗菌薬と小児疾患 小児における抗菌薬療法の歴史」砂川慶介 『小児科臨床』55(2)207-215

「眼内血管病変の病態研究と治療法の発達 未熟児網膜症 20世紀における未熟児網膜症診療の歴史の変遷」永田誠 『日本眼科学会雑誌』106(臨増)76

「楽しくお産 楽しく子育て 周産期医学から出産・育児を考える 育児編 日本の育児の変遷 日本の育児の変遷」平山宗宏 『周産期医学』32(増刊)385-388

「鉛中毒の歴史に関する研究 (1) 平井毓太郎教授による「仮

称所謂脳膜炎患児の脳脊髄液中含有量について」(1928) に対する考察」堀口俊一 『産業衛生学雑誌』44(増刊)460
「子ども虐待 診断と初期対応 子どもの虐待の歴史」柳川敏彦 『小児内科』34(9)1335-1339

30 神経学史

「日本におけるカルバマゼピンの気分安定作用に関する研究の歴史」大熊輝雄 『精神神経学雑誌』104(8)647-655

「疫学と神経内科から見るプリオン病 その一 ヒト硬膜移植後のクロイツフェルト・ヤコブ病」佐藤猛 『ミクروسコピア』19(3)182-186

「疫学と神経内科から見るプリオン病 その二 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病と感染性プリオン蛋白の侵入経路」佐藤猛 『ミクروسコピア』19(4)270-274

「冠名徴候 Westphal 徴候」佐橋功 『Clinical Neuroscience』20(1)112

「神経心理学の歴史と方法」大東祥孝 『失語症研究』22(3)215-220

「Eppinger, Hess の学説と脱神経過敏 カテコールアミン負荷試験の研究史」田村直俊、島津邦男 『自律神経』39(3)240-248

「『日本神経学会』(現；日本精神神経学会) 創立以前の日本における 19世紀西欧神経心理学の受容史 (1) 「失語」など神経心理学的諸概念・用語導入をめぐる (18611~1880

- 年) 濱中淑彦『精神医学』44(10)1119-1130
- 「日本神経学会」(現;日本精神神経学会) 創立以前の日本における19世紀西歐神経心理学の受容史 (2) 神経心理学適所概念・知見の導入と独自の発展への道程 (1881~1902年) 濱中淑彦『精神医学』44(12)1329-1339
- 「古典あれこれ 反回しない反回神経」廣瀬肇『JOHNS』18(2)254-257
- 「Balo 病の全て Balo 病 序説」古川哲雄『神経内科』56(6)483-487
- 「原典・古典の紹介 Ullrich 型筋ジストロフィー」古川哲雄『神経内科』56(4)372-377
- 「原典・古典の紹介 反射性麻痺」古川哲雄『神経内科』57(3)265-268
- 「頭痛・疼痛 頭痛研究の歴史」間中信也『神経研究の進歩』46(3)331-340
- 「治療の歴史 頭痛診療」間中信也『治療学』36(7)779-783
- 「中枢神経系に関する臨床神経生理学の歴史と展望 (History and Perspective of Clinical Neurophysiology for Central Nervous System) (英文)」Yamada Thoru『リハビリテーション医学』39(10)634-641

31 診断学史

- 「韓国における診断的細胞学の歴史と現状 (History and Status of Diagnostic Cytology in Korea) (英文)」Lee Kwang

- Gil『日本臨床細胞学会雑誌』41(Suppl.1)79
- 「タイにおける細胞学的活動 過去、現在及び将来 (The Cytologic activity in Thailand: past, present and future) (英文)」Kanjanavirojkul Nipa『日本臨床細胞学会雑誌』41(Suppl. 1)78
- 「台湾における細胞学的活動 過去、現在及び将来 (The Cytology Activity in Taiwan: Past, Present and Future) (英文)」Chang Tien Chun『日本臨床細胞学会雑誌』41(Suppl. 1)77
- 「中国の臨床細胞学発達史の展望と現状 (The prospect and status of developing history of Chinese clinical cytology) (英文)」Liu Luning『日本臨床細胞学会雑誌』41(Suppl. 1)77
- 「【超音波検査50年と最新技術の現況】超音波半世紀 超音波医学の半世紀と今後の展開」伊東紘一『新医療』29(5)42-43
- 「歴史的論文の紹介 K空間とKトラジェクリ」巨瀬勝美『日本磁気共鳴医学会雑誌』22(1)19-21
- 「血圧測定 of 歴史 1-2」笹壁弘嗣『看護実践の科学』27(2-3)71, 72
- 「医療こぼればなし 心臓カテーテルの歴史」笹壁弘嗣『看護実践の科学』27(11)60
- 「音楽幻聴研究の歴史」武内克也、酒井明夫、山村美枝、大塚耕太郎、星克仁、中山英紀、奥山雄、地土井健太郎『精神

『医学史研究』6(2)111-118

「原典・古典の紹介 同時失認」古川哲雄『神経内科』57(1)85-88

32 整形外科史

「整形外科の歴史 59-60 19世紀後期から20世紀初期へドイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑧ハイデルベルク学派の成立と影響 (2-3)」蒲原宏『整形外科看護』7(4-5)386-390, 500-504

「整形外科の歴史 61 19世紀後期から20世紀初期へドイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑧もうひとつのハイデルベルク学 (大学) 派」蒲原宏『整形外科看護』7(6)98-102

「整形外科の歴史 62-63 19世紀後期から20世紀初期へドイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑨ベルリン学派の混迷と再建 (1-2)」蒲原宏『整形外科看護』7(7-8)706-709, 802-805

「整形外科の歴史 64 19世紀後期から20世紀初期へドイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑨ベルリン学派の混迷と再建 ゴホトの仕事 (続き)」蒲原宏『整形外科看護』7(9)900-906

「整形外科の歴史 65-66 19世紀後期から20世紀初期へドイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑩ドイツの外科の一分科としての整形外科 フライブルグ大学の場合」蒲原宏『整形外科看護』7(10-11)1000-1004, 1098-1101

「整形外科の歴史 67 19世紀後期から20世紀初期へドイツ語圏諸国の整形外科の近代化—⑩ドイツの外科の整形外科近代化への寄与」蒲原宏『整形外科看護』7(12)1208-1212

「足部に名前を遺した二人のフランス人 Chopart と Lisfranc」小林晶『日本足の外科学会雑誌』23(1)33

「医史学からみた整形外科 (抄)」酒井シヅ『中部日本整形外科災害外科学会雑誌』45(春季学会号)1

「治療の歴史 義肢・装具」関勝、木村彰男『治療学』36(8)895-902

「人工股関節置換術 最近の考え方 人工股関節開発の歴史」長谷川潤、松浦美喜雄『リウマチ科』28(5)417-423

33 精神医学史

「『街娼の精神衛生的調査』(国立国府台病院)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(55)8-21

「『作業治療について』(第九回関東精神医学懇話会) (上)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(56)35-40

「王子脳病院代用病院指定更新書類」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(54)29

「京都市社会局『京都市に於ける精神病及其の収容施設に関する調査』(上)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(56)13-24

「財団法人精神厚生会創立趣意書ほか」『呉秀三先生記念精神

- 科医療史資料通信』(56)25-34
- 「人種改善論(三)(家庭薬報・衛生号)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(55)1-7
- 「誠心院居士『旅路之夢』(下)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(54)25-28
- 「土井正徳『大連に於ける精神病患者統計』(下)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(56)1-11
- 「陶烈『日本之精神病院』(下)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(54)30-31
- 「原点に帰って原典を読む 症例を中心に Asperger 症候群の原点と原典 児童期における自閉精神病質者」池村義明『精神科治療学』17(4)499-508
- 「原点に帰って原典を読む 症例を中心に パラノイアの原点と原典 症例 E. ヴァークナー (1874-1938)」池村義明『精神科治療学』17(8)1065-1072
- 「PTSD とその周辺をめぐる PTSD 概念の精神医学史」大塚俊弘『臨床精神医学』(2002年増刊)23-29
- 「『脳と精神』の医学史 精神医学の将来 序説」大東祥孝『精神医学史研究』6(1)11-13
- 「作業療法の先達の肖像 (1)～(11)」岡田靖雄『作業療法ジャーナル』36(1-12)49, 153, 229, 317, 437, 937, 1025, 1105, 1201, 1281, 1377
- 「日本の精神科医療史ノート (19)～(24)」岡田靖雄『最新精神医学』7(1-6)81-86, 175-180, 281-286, 389-393, 491-496,

599-604

- 「精神分裂病治療の新しい世紀 定型抗精神病薬から非定型抗精神病薬への歴史」Kasper Siegfried『臨床精神薬理』5(9)1290-1300
- 「PTSDの理論と治療の実際 PTSDの歴史と診断について」金吉晴『こころの臨床ア・ラ・カルト』21(2)168-170
- 「江戸時代後期の精神障害者の処遇(5)」桑原治雄、板原和子『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(54)1-24
- 「逸脱の精神史 酒と狂気」酒井明夫『こころの科学』(103)126-135
- 「逸脱の精神史 失神の意味」酒井明夫『こころの科学』(101)148-156
- 「文化精神医学と精神医学史 両者の出会いが生み出す可能性 アルカディア「文化精神医学と精神医学史」の序にかえて」酒井明夫『臨床精神医学』31(6)601-607
- 「覚醒剤に関する調査資料(中、下)」衆議院厚生委員会専門員室『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(54-55)32-39, 22-35
- 「痴呆をめぐる医学・医療の多面性 各領域の特性を生かし良き連携を探る わが国における痴呆医学・医療の歴史過去・現在・未来」新富尚武『Cognition and Dementia』1(3)199-205
- 「『脳と精神』の医学史 精神医学の将来 心的因果性概念にみる近代」鈴木國文『精神医学史研究』6(1)28-33

- 「昭和戦前期の精神医療におけるジェンダーバイアス (抄)」
鈴木晃仁『日本医史学雑誌』48(3)376-377
- 「精神医学にみた『ヨブ記』 病める友人への対応」高橋正雄
『日本医事新報』(4061)55-59
- 「[脳と精神]の医学史 精神医学の将来 精神神経学の立場
から」田邊敬貴『精神医学史研究』6(1)19-23
- 「中国における文化精神医学」趙旭東『日中医学』17(1)25-28
- 「『大連に於ける精神病患者統計』(上)」土井正徳『呉秀三先
生記念精神科医療史資料通信』(55)36-39
- 「[脳と精神]の医学史 精神医学の将来 精神症候学の立場
から」濱田秀伯『精神医学史研究』6(1)24-27
- 「ルネッサンス期における「ホームステイ交換医学留学生」の
旅と日常 (1)―フェーリックス・プラッターの「日記」よ
り―」濱中淑彦『科学医学資料研究』30(12)187-205
- 「[脳と精神]の医学史 精神医学の将来 臨床神経学の立場
から」古川哲雄『精神医学史研究』6(1)14-18
- 「文化精神医学と精神医学史 両者の出会いが生み出す可能
性 歴史と文化の観点から見たフランス精神医療における
「物質性」について」三脇康生『臨床精神医学』31(6)629-
637
- 「原典・古典の紹介 Gaupp R. “Krankheit und Tod des
paranoischen Massenmoorders Hauptlehrer Wagner.
Eine Epikrise A Gesamte Neurol Psychiatr” 1938; 163:
48-82 精神医学と「パラノイア」の出会い」山岸洋、村井

俊哉『精神科』1(3)243-245

「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本臨床心理学会
の俯瞰と最近の展開」吉田照久『最新精神医学』7(6)585-
590

34 生物学史

「生命の発生と脳の進化 過去 38 億年の脳の歴史と進化から
の教訓」藤田哲也『聖マリア医学』27(1)31-54

35 西洋医学史

「懐旧のドイツその二 ゲーテと医学」上野賢一『ミクロス
コピア』19(4)285-288

「医とケンブリッジ史学派」栗本宗治『医譚』(78)32-33

「スコットランドの医 (その二) (抄)」栗本宗治『医譚』(78)
23

「パリ医学史瞥見 (1)―外科学興隆の残照を求めて―」佐藤
裕『いずみ』49(5)16-17

「パリ医学史瞥見 (2) ルイ 14 世の痔瘻手術とヴェルサイユ
宮殿」佐藤裕『いずみ』49(6)16-19

「パリ医学史瞥見 (3) [完]―医学校通り界限―」佐藤裕『い
ずみ』49(7)12-13

「未発表文献 (Minachon 文書) によるパリ一般病院の誕生
(抄)」清水陽人『日本医史学雑誌』48(3)360-361

「欧米における自然医学の歴史 ヒポクラテス医学」中島文保

『マニピュレーション』17(1-4)93-99, 107-110, 92-96, 91-95

「サン・ルイ病院のミュゼ (博物館)」服部瑛『日本皮膚科学会雑誌』112(3)268

「アルプスを越えた医師たち ルネッサンス期までの南北医学交流史 (1-3)」濱中淑彦『名古屋医報』(1241, 1246, 1248)26-27, 25-26, 18-19

「ブローカの故郷 サント・フォア紀行」濱中淑彦『愛知医報』(1673)88-90

「ウイーンの医学史博物館 Das Josephinum とその周辺」古川哲雄『科学医学資料研究』30(9)147-156

「医学の歴史を訪ねて—イタリアの旅⑥ヴェネツィア Venezia (1)」星和夫『けんさ』31(3)21-24

「医学の歴史を訪ねて イタリアの旅 フィレンツェ Firenze」星和夫『けんさ』32(2)19-22

36 生化学史

「グルタチオン 歴史と展望」木村光『ビタミン』76(11)509-514

37 生理学史

「ボードインのもたらした新しい神経生理学 (抄)」相川忠臣、ハルメン・ボイケルス『日本医史学雑誌』48(3)442-443

「成長ホルモンの全て 成長ホルモンの歴史」入江實『内分

泌・糖尿病科』15(Supple. 1)1-9

「小児疾患診療のための病態生理 病態生理はどのように解明されてきたか歴史から考える」樋野興夫『小児内科』34(増刊)12-15

38 地方史

「伊勢原市医療史 杉田玄白にオランダ語を教えた男」岩崎克彦『臨床モニター』13(Suppl.)17

「高松藩 幕末の医療事情」大森正樹『香川県医師会誌』55(2)92-90

「赤ひげと金沢八景」小川明、宮崎晴信、相川忠久『第45回日本大学工学部学術研究報告会公園要旨集』29-35

「岩手医学雑誌創刊当時の時代背景」小野繁『岩手医学雑誌』54(3)185-188

「東海道医史の旅 神奈川県編①川崎の巻 宗三寺、飯盛女解放」中西淳朗『月刊保団連』(736)62-63

「東海道医史の旅 神奈川県編②市場・鶴見の巻 市場の灸、両幸社、岩村友軒」中西淳朗『月刊保団連』(758)38-39

「東海道医史の旅 神奈川県編③神奈川の巻 ヘボンを監視せよ」中西淳朗『月刊保団連』(760)30-31

「東海道医史の旅 神奈川県編④保土ヶ谷の巻 飯盛宿、野方病院」中西淳朗『月刊保団連』(763)43-45

「東海道医史の旅 神奈川県編⑤戸塚の巻 三島堂分院→横浜三島堂病院」中西淳朗『月刊保団連』(769)44-45

「精神科医療 茨城県の精神医療・保健・福祉の歴史」額賀章好『茨城県立病院医学雑誌』19(4)207-219

「明治期発行の医籍録に掲載された新潟県内の医師・歯科医師人名(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』48(3)338-339

「近藤家文書について―大森壽庵と越後の眼科医近藤文泰(抄)」広瀬秀『日本医史学雑誌』48(3)340-341

「長崎と西洋医学 我々は先人に何を学ぶべきか」ブライアン パークガフニ『西日本皮膚科』64(3)380

「江戸時代における青森県の医療が全国に及ぼした影響 とくに津軽の阿片を中心として(抄)」松木明知『日本整形外科学会雑誌』76(8)951

「名古屋における自律神経研究100年の歩み」間野忠明『自律神経』39(1)1-10

39 治療史

「治療の歴史 関節リウマチの薬物療法」安倍達『治療学』36(12)1311-1315

「現代作業療法全図を知るために(II)日本における作業療法の歴史分析」石井良和、長谷龍太郎、村田和香『作業療法』21(Suppl.)127

「古典あれこれ わが国における抗癌剤開発の黎明期1 秦藤樹とMitomycin C」犬山征夫『JOHNS』18(3)682-687

「古典あれこれ わが国における抗癌剤開発の黎明期2 梅澤浜夫とBleomycin」犬山征夫『JOHNS』18(4)828-836

「古典あれこれ わが国における抗癌剤開発の黎明期3 藤井節郎とUFT」犬山征夫『JOHNS』18(5)988-993

「静脈注射の歴史」井部俊子『ナーシング・トゥデイ』17(13)45

「日本の腎臓学黎明期 腎摘除術の歴史」大越正秋『腎臓』25(2)82-84

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の創生期(4)」太田和夫『透析ケア』8(1)58-62

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の創生期(5)」太田和夫『透析ケア』8(2)160-163

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の黎明期」太田和夫『透析ケア』8(4)421-425

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 太田和夫『透析ケア』8(5)525-529

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の黎明期 人工腎臓の改良と普及」太田和夫『透析ケア』8(6)106-109

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の黎明期 コルプの播いた種」太田和夫『透析ケア』8(7)744-747

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析の黎明期(6)―1940年代の終わりから50年代へ」太田和夫『透析ケア』8(8)850-854

「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史

- ブラッドアクセスの歴史」太田和夫『透析ケア』8(9)946-949
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』8(10)1060-1063
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 腹膜透析の研究」太田和夫『透析ケア』8(11)1160-1162
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 腹膜透析による救命」太田和夫『透析ケア』8(12)1265-1267
- 「日本の腎臓学黎明期 人工腎臓の研究・開発の歴史そして先駆者たち」太田和夫『腎臓』25(2)159-161
- 「腹膜透析の歴史」太田和夫『Trends & Topics in Transplantation』13(1)18
- 「治療の歴史 直腸癌」太田博俊『治療学』36(1)105-109
- 「CAPD2002 腹膜透析 peritoneal dialysis の歴史」川口良人『腎と透析』52(6)695-697
- 「治療の歴史 わが国における在宅ホスピスケア」川越厚『治療学』36(3)307-312
- 「抗生物質の歴史 日本の歴史 (The history of antibiotics: The Japanese story) (英文)」Kumazawa Joichi, Yagisawa Morimasa『Journal of Infection and Chemotherapy』8(2)125-133
- 「高血圧治療の歴史」笹壁弘嗣『看護実践の科学』27(5)57
- 「高血圧治療の歴史 その3」笹壁弘嗣『看護実践の科学』27(6)49
- 「治療の歴史 肺移植」清水信義『治療学』36(6)673-676
- 「プライマリケアに必要な透析療法のエッセンス 透析療法の歴史」高橋直生、下条文武『治療』84(5)1491-1499
- 「音楽療法の歴史と発展 心身医学の立場から」筒井末春『心身医学』42(12)801-807
- 「『玉葉』における九条兼実の湯治(抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』48(3)330-331
- 「治療の歴史 マクロライド系抗菌薬」當山真人、斎藤厚『治療学』36(2)207-210
- 「癌の抗体療法 癌治療における抗体療法の歴史的変遷」埴淵昌毅、矢野聖二、曾根三郎『Surgery Frontier』9(3)194-198
- 「治療の歴史 末梢血幹細胞移植」濱木珠恵、上昌広『治療学』36(10)1104-1107
- 「治療の歴史 コレステロール低下療法と総死亡率」村上英之、島本和明『治療学』36(5)539-543
- 「治療の歴史 急性心筋梗塞の治療」安川龍也『治療学』36(4)424-428
- 「現代作業療法全図を知るために (I) 日本における作業療法の歴史分析」山田孝、笹田哲、野藤弘幸『作業療法』21(Suppl.)126

40 伝 記

「國手 浅井利勇と戦時神経症」大村政男『日本心理学会 66 回大会発表論文集』58

「先達医家の肖像 <105> Robert Adams (1791-1875)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(381)巻末

「絵葉書でみる荒木寅三郎 (抄)」寺畑喜朔『医譚』(78)26

「古典あれこれ 日本にキリスト教と教会医学をもたらした 外科医アルメイダ」犬山征夫『JOHNS』18(12)2081-2089

「安藤昌益の陰陽五行論—自然真営道—」角田睦子『漢方の臨床』49(3)375-390

「中国歴代の名医肖像伝記 82 醫和 (イーホー)」『漢方医薬新聞』(301)3

「医療史回遊紀行 日本最初の帝王切開に成功した産婦人科 医伊古田純道」篠田達明『GPnet』49(2)88-89

「先達医家の肖像 <102> 石坂公成 (1925~)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(378)巻末

「熊本県近代文化功労者として顕彰された一井正典について (抄)」松本晋一、渋谷敦『日本医史学雑誌』48(3)454-455

「杏雨書屋宇田川榕菴資料 (IV) 補遺」芝哲夫『杏雨』(5) 164-209

「杏雨書屋蔵書に見る宇田川榕菴の世界」芝哲夫『杏雨』(5) 117-128

「医人列伝 11 パウル・エールリッヒ」『Capsule』(70)表 4

「エルドリッジと北海道 (抄)」大西泰久『神奈川医学会雑誌』

29(1)99-100

「大井玄洞—日本におけるトキシコロジーの先駆者」竹中祐典『科学医学資料研究』30(10)1-16

「大村敏郎先生を悼む」大滝紀雄『日本医史学雑誌』48(2) 299-300

「福岡医科大学創設者・大森治豊 (抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』48(3)350-351

「医療と倫理 まだ若い後輩たちへ 医学の進歩と医の倫理 第4話 “沖中重雄先生について語り残したこと”」三輪史朗『THE LUNG-perspectives』10(2)232-235

「医の心と科学 オスラーから学ぶ」日野原重明『高崎医学』5246-59

「江戸時代の医学・医療—三州吉田の蘭方医・尾本公同の生涯—」長与建夫『名古屋医史談話会会報』(32)1-5

「ナチスの「安楽死」作戦とミュンスター司教フォン・ガーレン (抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』48(3)362-363

「先達医家の肖像 <104> 貝原益軒 (1630-1714)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(380)表 3

「医者も知りたい【医者のはなし】第1回 貝原益軒 (1630-1714)」木村専太郎『臨床整形外科』37(10)1204-1206

「脳病余話 暗殺は不要であった カエサルのでんかん発作」佐野圭司『ブレインナーシング』18(4)398-400

「医療史回遊紀行 史上初めて胎児の子宮内倒立説を唱えた 産科医賀川玄悦」篠田達明『GPnet』49(6)68-69

- 「『金匱玉函経』および『金匱玉函要略方』における葛洪の役割」遠藤次郎、島木英彦、中村輝子『漢方の臨床』49(1) 113-123
- 「加藤虎之助医師の生涯について」上野陽里『医学史研究』(82)25-31
- 「医療史回遊紀行 伝染病研究所創設に苦闘した反骨の細菌学者北里柴三郎」篠田達明『GPnet』49(4)68-69
- 「詩人・木下柰太郎と皮膚科学者・太田正雄—1-2.」三浦義彰『モダンメディア』48(9, 11)14-16, 21-22
- 「『解体新書』の原著者クルムスについての研究」石田純郎『日本医史学雑誌』48(1)31-51
- 「黒澤良臣小伝」岡田靖雄『熊本大学医学部神経精神医学講座開講百年記念誌』70-75
- 「On the Background of Engelbert Kaempfer's Studies of Japanese Herbs and Drugs」Michel, Wolfgang『日本医史学雑誌』48(4)692-720
- 「ケンペルと日本—ケンペル生誕350年記念祭に招かれて—」片桐一男『科学医学資料研究』30(3)1-17
- 「小石二郎について (抄)」小石秀夫『医譚』(78)39
- 「古典あれこれ 甲状腺の研究によりノーベル賞を受賞したテオドル・コッヘル」犬山征夫『JOHNS』18(6) 1138-1145
- 「杉田玄白門人 小林令助とその時代」『津山洋学資料館 友の会だより』(40)6-7

- 「日独文化交流を支えた人々 Forerder des japanisch-deutschen Kulturaustausches (5) 第6回 第三代順天堂主 佐藤進—日本人初のドイツ医学博士—旅行免状第1号 Dr. Susumu Sato (1845-1921) Der dritte Rektor des Juntendo-Krankenhauses-der erste japaner, der einen Reisepass bekam und im Fach Medizin promovierte」近藤貴子『Die Brücke かけはし』(552)4-5
- 「シーボルトと日本の楽器—シーボルト著『日本』所収「楽器図」を中心に—」立田雅彦、徳永宏『鳴滝紀要』(12)101-114
- 「中国歴代の名医肖像伝記 84 薛立齋 (シュエ リー ツアイ)」『漢方医薬新聞』(306)6
- 「植民地時代朝鮮のハンセン病医療に従事した医師周防正季 (抄)」魯紅梅『日本医史学雑誌』48(3)354-355
- 「杉田玄白のレトリック」岩崎鐵志『静岡県立大学短期学部言語文化研究』(創刊号)1-29
- 「日韓生薬学交流史—杉原徳行の業績と評価」渡辺晴香、金善珉、丁宗鐵『日本医史学雑誌』48(2)219-225
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (89) 地の巻」斎藤末一郎『経絡鍼療』34(4)27-28
- 「医療史回り舞台 大正天皇の周産期障害」篠田達明『整形・災害外科』45(2)140
- 「循環器疾患研究を支えた人々 平則夫」飯島俊彦『Cardiac Practice』13(4)477-479

- 「田外玄洞について (上)」田外幸恵『津山洋学資料館 友の会だより』(40)2-3
- 「ある医師の行き方 海軍軍医総監高木兼寛について」吉村昭『心臓病センター榊原病院雑誌』1-11
- 「陳外郎4世祖田について」杉山茂『薬史学雑誌』37(2)147-151
- 「医家としての外郎の祖 陳順祖」杉山茂『薬史学雑誌』37(1)107-111
- 「ツェンペリーと日本」片桐一男『科学医学資料研究』30(8)129-146
- 「英国お産事情 ナイチンゲールの統計学」増崎英明『ペリネイタルケア』21(2)152-154
- 「ナイチンゲール時代の英国の移民」滝内隆子『看護歴史研究』111-16
- 「医のことば 永井隆」荒井保男『新薬と治療』52(2)31-33
- 「長崎学の泰斗 中西啓先生を悼む」相川忠臣『日本医史学雑誌』48(2)301-303
- 「先達医家の肖像 <103> 長野泰一 (1906-1998)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(379)巻末
- 「長岡市出身の医学者・榊野直の筆記ノートについて (抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』48(3)342-343
- 「野口英世博士ゆかりの旧細菌検査室保存運動の歴史 (History of a Volunteer Movement to Preserve the Bacteriological Laboratory Once Used by Dr. Hideyo Noguchi)

(英文)」Moriyama Norinaga『DENTISTRY IN JAPAN』38132-136

- 「James Parkinson の末裔」山村安弘『広島大学医学雑誌』50(3-4)107-110
- 「近代衛生学の開拓者 Edmund A.Parkes」松下敏夫、野村茂、竹内亨『日本衛生学雑誌』57(1)224
- 「詩人 Lord Byron の内反足」古川哲雄『神経内科』57(3)287-288
- 「医療史回遊紀行 世界最初の全身麻酔薬を創製した紀州の外科医 華岡青洲」篠田達明『GPnet』49(3)62-63
- 「癸亥 春林軒統薬方冊 (三)」高橋均、坂田育弘、児玉重隆『日本医史学雑誌』48(2)259-266
- 「パレと乳癌」酒井シヅ『Mamma』(41)表2
- 「人見政市郎と複赤十字会、リバイバルホーム」人見和子『医学史研究』(82)1-14
- 「「病とはなにか」という歴史哲学 医師、イデオログ、博物学者としてのピネル」デュムシエル ポール『精神医学史研究』6(1)9-10
- 「藤浪鑑教授とがんの疫学調査 (二) 林直助教授の協力と戦後の研究への寄与 (抄)」青木國雄『日本医史学雑誌』48(3)348-349
- 「医療史回遊紀行 江戸時代に腎臓のはたらきを動物実験で確かめた阿蘭陀医伏屋素狄」篠田達明『GPnet』49(9)68-69

- 「Colles 骨折の嚆矢 Claude Pouteau」清水陽人『整形外科』53(9)1229-1235
- 「Nikolaus Friedreich (1825-1882) その生涯と神経学への寄与」高橋昭『神経内科』56(3)273-291
- 「古川先生の御霊に、他」羽生順一、他『STETHOSCOPE』(169)6-18
- 「生命科学の巨人 プルキニェ その一 波乱の人生と偉大な業績」外崎昭『ミクروسコピア』19(1)36-41
- 「生命科学の巨人 プルキニェ その二 近代科学形成の時代」外崎昭『ミクロスコピア』19(2)130-134
- 「医療史回り舞台 精神分析医フロイトの精神不安定症」篠田達明『整形・災害外科』45(11)1172
- 「血圧測定の創始者ステファン・ヘイルズ (抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』48(3)356-357
- 「解剖学の父 アンドレアス・ヴェサリウス その九 晩年と死」坂井建雄『ミクロスコピア』19(1)62-65
- 「解剖学の父 アンドレアス・ヴェサリウス その十 ヴェサリウスが与えてくれるもの」坂井建雄『ミクロスコピア』19(3)230-235
- 「中国歴代の名医肖像伝記 80 馬蒔 (マーシー)」『漢方医薬新聞』(299)3
- 「前田利家と胆石症」杉浦守邦『啓迪』(20)1-5
- 「医療史回り舞台 前田利家の妻まつを抑鬱症」篠田達明『整形・災害外科』45(12)1278

- 「『解体新書』翻訳の指導者 前野良沢の“仕事観”」二宮陸雄『日経メディカル』(414)144-145
- 「松平定信の古方派批判 (抄)」町泉寿郎、花輪壽彦、寺澤捷年『日本医史学雑誌』48(3)404-405
- 「曲直瀬道三と佐野—「足利の三帰」の検討 (抄)」中村輝子、遠藤次郎『日本医史学雑誌』48(3)400-401
- 「児童福祉の先覚者三田谷啓医博 (抄)」中山沃『医譚』(78)39
- 「ドイツゆうゆう 青春の旅～森鷗外のドイツ留学」山崎一穎『ingelheimer』(60)1-11
- 「森田療法誕生の土壌と、森田正馬の生い立ち、及び関心事 (その1) 明治・大正時代に傑出した業績を上げた医学者・科学者の生い立ちの比較検討」澤野啓一『日本森田療法学会雑誌』13(1)107
- 「山川登美子と結核」白崎昭一郎『医学史研究』(80)1-10
- 「追悼 吉田信先生」島田保久『日本医史学雑誌』48(2)297-298
- 「医のことば 吉益東洞 諸病共に一つの毒ありて、其毒動き万病を発するなり (万病唯一毒)」荒井保男『新薬と治療』52(4)37-39
- 「李世珍先生の針 李世珍先生の補瀉手技について」新国豊『中医臨床』23(1)99-101
- 「先達医家の肖像 <100> Wilhelm Conrad Rontgen (1845-1923)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(376)巻末

- 「レントゲンの X 線発見前後 ノーベル物理学賞受賞 100 周年に因んで」大場覚『日独医報』47(2)226-250
- 「レンブラント「テュルプ博士の解剖学講義」」濱田稔夫『いずみ』49(6)20-21
- 「画家トゥールーズ・ロートレック (1864-1901) の疾患について (抄)」小林晶『日本医史学雑誌』48(3)366-367
- 「中国歴代の名医肖像伝記 82 王叔和 (ワン シューホー)」『漢方医薬新聞』(302)3
- 41 伝記 (双)**
- 「津山藩医としての宇田川榕菴とその弟子たち」幸田正孝『杏雨』(5)129-163
- 「エルドリッジ家とタイナー家 (抄)」大滝紀雄『神奈川医学会雑誌』29(1)97-98
- 「目でみる漢方史料館 (169) 孫思邈史蹟の碑文に大塚・矢数先生の伝」真柳誠『漢方の臨床』49(7)866-868
- 「三位法眼と半井明重 (抄)」石原力『日本医史学雑誌』48(3)332-333
- 「司馬凌海と後藤新平一名古屋に医学の礎を築いた天才と偉人」高橋昭『名古屋医史談話会会報』(31)1-7
- 「津田真道と箕作麟祥のラテン語学書」原田裕司『一滴』(9)15-76
- 「『延寿院切紙』における導道・三喜像 (抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』48(3)398-399

- 「藤本純吉と加賀前田家」竹内桂一『北陸医史』23(1)9-10
- 「対照的な二つの資料 ペーリーとサー・ウイリアム・ローレンス」長野敬『科学医学資料研究』30(11)1-14
- 「明治、大正両天皇のご病状について (抄)」中山沃『医譚』(78)25-26
- 「森鷗外からみた高木兼寛」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』117(3)199-217

42 伝染病史・防疫史

- 「病院感染対策の進歩 最新研究動向と展望 病院感染に関する歴史変遷と展望」小林寛伊『日本臨床』60(11)2067-2071
- 「考古学からみた感染症 天平7-9年の豌豆瘡とその対策」菅谷文則『Current Concepts in Infectious Diseases』21(4)12-15
- 「大正三年、東京における発疹チフスの大流行について—防疫行政面からの一考察」渡部幹夫『日本医史学雑誌』48(4)597-616

43 東洋医学・伝統医学史

- 「小児科漢方の来し方行く末 漢方史における小児医療」青山重雄『日本東洋医学雑誌』53(6)142
- 「中国・韓国の伝統医学教育—韓国中医薬教育の現状—」安圭錫『漢方医薬新聞』(314)4

- 「【世界諸民族の伝統医学養生医学】モンゴルの伝統医学 モンゴル伝統医学の歴史」飯野節夫『予防と養生』1(3)52-53
- 「鬼眼穴の考察(抄)」上田善信『日本医史学雑誌』48(3)396-397
- 「【代替医療と東洋医学をめぐる諸問題】海外の伝統医学と日本流入 アーユルヴェェダ」上馬場和夫『漢方と最新治療』11(1)27-32
- 「日本における中医薬学教育」植松捷之『漢方医薬新聞』(314)2
- 「占領下の鍼灸 GHQ 旋風と検閲のはざままで」奥津貴子『医道の日本』61(8)159-173
- 「日中医学交流史4. 清医の来日の史略」郭秀梅『日中医学』17(4)22-25
- 「古典医書における字から詞へ変化例(抄)」郭秀梅、加藤久幸『日本医史学雑誌』48(3)386-387
- 「傷寒論に学ぶ小腸病の病態と治療法(抄)」金子幸夫『漢方医薬新聞』(303)4
- 「金丹と道教」川原秀城『斯文』(110)101-111
- 「漢方製剤の医史学的管見(抄)」菊谷豊彦『神奈川医学会雑誌』29(2)261-262
- 「『黄帝八十一問』の六十四問より七十三問の脾寒について(抄)」木脇祐順『日本獣医史学雑誌』(39)70-71
- 「多御少女の房中術に関する医学的検証」嚴善昭『日本医史学雑誌』48(2)205-217

- 「【温胆湯を使いこなす】歴代名医の医案 温胆湯の古医案3例」黄煌『中医臨床』23(1)33-35
- 「小児科漢方の来し方行く末 小児科漢方30年の成果」甲賀正聰『日本東洋医学雑誌』53(6)143
- 「中国における精神医学と精神医療 中国における精神医学の過去と現在」湖海正尋『日中医学』17(1)13-17
- 「附子・烏頭の歴史の変遷」小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』53(6)107
- 「附子・烏頭の歴史の変遷(抄)」小曾戸洋『漢方医薬新聞』(303)6
- 「中国伝統医学の診断技法」小高修司『モダンメディア』48(8)15-20
- 「日中医学交流史1. 古代の交流」酒井シヅ『日中医学』17(1)36-39
- 「モグサの産地としての伊吹山の歴史(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』48(3)406-407
- 「日中医学交流史3. 栄西と中国喫茶の輸入」陶恵寧『日中医学』17(3)22-23
- 「日中医学交流史2. 『医心方』の刊行」陶恵寧『日中医学』17(2)20-22
- 「『脈経』二十四脈状解析—『脈経』中における浮脈と他脈状の関係(抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』48(3)390-391
- 「日本鍼灸小史 寛文九年成・飯村文斎考「銅人形」覚書 紀州は和紙「銅人形」発祥の地か？」長野仁『鍼灸 OSAKA』

- 17(4)390-398
 「日本鍼灸小史 奇経八脈図はいつから描かれるようになったか」長野仁『鍼灸 OSAKA』18(1)100-104
 「目でみる漢方史料館 (164) 和久田叔虎の筆録した『暘谷斎医弁』の刺絡」長野仁『漢方の臨床』49(2)186-188
 「世界諸民族の伝統医学養生医学 チベット医学 (その2)」難波恒雄『予防と養生』1(2)45-51
 「鍼灸舌診学 (その一) 舌診学の歴史 (中国)」藤本蓮風『鍼灸 OSAKA』18(3)307-309
 「目でみる漢方史料館 (167) 伊藤大助の家伝資料」町泉寿郎『漢方の臨床』49(5)602-604
 「日本漢方の伝統と発展 臨床医の立場から」松田邦夫『日本東洋医学雑誌』53(6)69
 「素問、靈枢からみた長野潔先生の内分泌治療」松本岐子『医道の日本』61(2)63-69
 「湯島聖堂倉公伝講義 (6-7)」宮川浩也『医道の日本』61(2, 6)125-131, 176-182
 「新設したはりきゅうミュージアム」森秀太郎『斯文』(110)69-81
 「資料でたどる日本鍼灸史 15 曲直瀬道三の鍼灸—その2」山本徳子『医道の日本』61(7)199-200
 「資料でたどる日本鍼灸史 16-17 曲直瀬玄朔 (二代目道三) の鍼灸」山本徳子『医道の日本』61(8-9)204-205, 190-191
 「資料でたどる日本鍼灸史 18 香川修庵の鍼灸」山本徳子

- 『医道の日本』61(11)222-225
 「資料でたどる日本鍼灸史 19 吉益東洞の鍼灸」山本徳子『医道の日本』61(12)165-166
 「資料でたどる日本鍼灸史 20 山脇東洋の鍼灸」山本徳子『医道の日本』61(14)216-217
 「漢方の父 矢数道明 (第一回)」油井富雄『漢方医薬新聞』(314)3
 「中国伝統医学と道教 (第二十三回)「神仙」(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』48(3)414-415
 「中国・韓国の伝統医学教育—中国中医薬教育の現状と発展趨勢—」劉振民『漢方医薬新聞』(314)4
 「古代中国における手技療法の発祥と発展」和久田哲司『日本東洋医学雑誌』53(1-2)71-75
 「古代中国における手技療法の変遷 後漢・三国から隋・唐」和久田哲司『日本東洋医学雑誌』53(6)188

44 内 科 史

- 「日本内科学会創立100周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科学と日本内科学会100年のあゆみ 年表」『日本内科学会雑誌』91(1)1-101
 「日本内科学会創立100周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年の歩み (消化器) 年表」『日本内科学会雑誌』91(2)507-518
 「日本内科学会創立100周年記念 医の調和を求めて 日本

- 内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (循環器) 年表』『日本内科学会雑誌』91(3)778-788
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (内分泌・代謝) 年表』『日本内科学会雑誌』91(4)1061-1073
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (腎臓) 年表』『日本内科学会雑誌』91(5)1367-1378
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (呼吸器) 年表』『日本内科学会雑誌』91(6)1641-1653
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (血液) 年表』『日本内科学会雑誌』91(7)1955-1967
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (神経) 年表』『日本内科学会雑誌』91(8)2225-2237
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (アレルギー・膠原病) 年表』『日本内科学会雑誌』91(9)2541-2552
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (感染症) 年表』『日本内科学会雑誌』91(10)2805-2822
- 「日本内科学会創立 100 周年記念 医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (内科横断領域) 年表』『日本内科学会雑誌』91(11)3091-3103
- 「内科 100 年のあゆみ (呼吸器) 主要疾患の歴史 肺気腫・慢性閉塞性肺疾患」青柴和徹、永井厚志『日本内科学会雑誌』91(6)1747-1752
- 「内科 100 年のあゆみ (内分泌・代謝) 主要疾患の歴史 糖尿病の歴史」赤沼安夫、本田律子、戸辺一之『日本内科学会雑誌』91(4)1195-1201
- 「内科 100 年のあゆみ (腎臓) 腎臓領域の 100 年 腎性高血圧」阿部圭志、角田一男『日本内科学会雑誌』91(5)1393-1400
- 「内科 100 年のあゆみ (呼吸器) 主要疾患の歴史 じん肺症の歴史的展開」阿部庄作、高橋弘毅、木村清延、細田裕『日本内科学会雑誌』91(6)1775-1779
- 「内科 100 年のあゆみ (内分泌・代謝) 日本人の貢献 橋本病」網野信行、多田尚人、日高洋『日本内科学会雑誌』91(4)1127-1130
- 「医の調和を求めて 日本内科学会 100 年の歩みと課題 内科 100 年のあゆみ (循環器) 日本人の貢献 田原結節」有田眞『日本内科学会雑誌』91(3)841-845
- 「内科学と日本内科学会 100 年のあゆみ 内科 100 年の変遷 脳死判定をめぐって」井形昭弘『日本内科学会雑誌』91(1)154-158

「内科100年のあゆみ(呼吸器)呼吸器領域の100年 人工呼吸器(鉄肺舎)和泉徹、堀江孝至『日本内科学会雑誌』91(6)1677-1680

「内科100年のあゆみ(神経)主要疾患の歴史 多発性硬化症」糸山泰人『日本内科学会雑誌』91(8)2339-2343

「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)主要疾患の歴史 心筋梗塞」上松瀬勝男、高橋敦彦『日本内科学会雑誌』91(3)874-879

「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 20世紀の「公害」と環境問題」大井玄『日本内科学会雑誌』91(1)150-153

「内科100年のあゆみ(腎臓)腎臓領域の100年 糖尿病性腎症」大澤源吾『日本内科学会雑誌』91(5)1401-1404

「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 内科診断学を変えた画像技術 X線からCT、MRIまでの歴史とトピックス」大澤忠『日本内科学会雑誌』91(1)163-167

「内科100年のあゆみ(血液)主要疾患の歴史 急性白血病」大野竜三『日本内科学会雑誌』91(7)2084-2089

「内科100年のあゆみ(感染症)主要疾患の歴史 敗血症」小方則夫『日本内科学会雑誌』91(10)2975-2982

「内科100年のあゆみ(消化器)消化器領域の100年 肝炎ウイルス」岡本宏明、真弓忠『日本内科学会雑誌』91(2)

556-560

「内科100年のあゆみ(内科横断領域)関連する医学・医療分野の歴史 放射線検査・核医学」片山仁『日本内科学会雑誌』91(11)3171-3175

「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)循環器領域の100年 心電図」加藤貴雄『日本内科学会雑誌』91(3)797-800

「内科100年のあゆみ(消化器)主要疾患の歴史 胆石症の歴史」亀田治男『日本内科学会雑誌』91(2)611-615

「内科100年のあゆみ(内科横断領域)関連する医学・医療分野の歴史 臨床検査」河合忠『日本内科学会雑誌』91(11)3164-3170

「内科100年のあゆみ(腎臓)主要疾患の歴史 わが国における腎不全治療のあゆみ 透析療法と腎移植」川口良人『日本内科学会雑誌』91(5)1460-1470

「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)日本人の貢献 川崎病」川崎富作『日本内科学会雑誌』91(3)838-840

「内科100年のあゆみ(血液)主要疾患の歴史 発作性夜間血色素尿症」木谷照夫『日本内科学会雑誌』91(7)2078-2083

「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)循環

- 器領域の100年 心臓と血管作動物質」木之下正彦『日本内科学会雑誌』91(3)828-831
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝) 内分泌・代謝領域の100年 糖尿病の診断と分類」葛谷健『日本内科学会雑誌』91(4)1122-1126
- 「診断の進歩 特発性間質性肺炎の診断基準をめぐる歴史的考察」工藤翔二『Annual Review 呼吸器』2002155-160
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器) 呼吸器領域の100年 呼吸機能検査」栗山喬之『日本内科学会雑誌』91(6)1663-1668
- 「原著を探る Fabry 病」栗山勝『Clinical Neuroscience』20(4)484-485
- 「内科100年のあゆみ(感染症) 主要疾患の歴史 レジオネラ感染症」小出道夫、斎藤厚『日本内科学会雑誌』91(10)2960-2964
- 「内科100年のあゆみ(感染症) 主要疾患の歴史 深在性真菌症」河野茂『日本内科学会雑誌』91(10)2907-2915
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器) 呼吸器領域の100年 毒ガスと肺癌」河野修興、栗谷幸一『日本内科学会雑誌』91(6)1660-1662
- 「内科100年のあゆみ(血液) 主要疾患の歴史 多発性骨髄腫」河野道生『日本内科学会雑誌』91(7)2106-2113
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝) 主要疾患の歴史 尿崩症の歴史」齊藤寿一『日本内科学会雑誌』91(4)1161-1165
- 「内科100年のあゆみ(アレルギー・膠原病) 主要疾患の歴史 関節リウマチ」齋藤輝信『日本内科学会雑誌』91(9)2663-2670
- 「内科100年のあゆみ(腎臓) 主要疾患の歴史 慢性糸球体腎炎(IgA腎症を主体に)」堺秀人『日本内科学会雑誌』91(5)1484-1488
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器) 循環器領域の100年 聴診」坂本二哉『日本内科学会雑誌』91(3)791-796
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器) 主要疾患の歴史 高血圧」猿田亨男『日本内科学会雑誌』91(3)937-941
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器) 呼吸器領域の100年 肺移植」清水信義『日本内科学会雑誌』91(6)1695-1697
- 「内科100年のあゆみ(腎臓) 日本人の貢献 腎炎モデルの開発」清水不二雄『日本内科学会雑誌』91(5)1428-1431
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器) 主要疾患の歴史 肺結核」下方薫『日本内科学会雑誌』91(6)1736-1740
- 「内科100年のあゆみ(消化器) 消化器領域の100年 Helicobacter pylori」下山孝、福田能啓、坂上隆、井上宏之、三上淳、殿勝康司、田村和民、田村俊秀『日本内科学会雑誌』91(2)547-551
- 「内科100年のあゆみ(消化器) 主要疾患の歴史 胃癌」白井

- 孝之、三輪剛『日本内科学会雑誌』91(2)596-600
- 「内科100年のあゆみ(腎臓)腎臓領域の100年 腎炎の分類」杉崎徹三『日本内科学会雑誌』91(5)1385-1389
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝)内分泌・代謝領域の100年 視床下部ホルモン」須田俊宏『日本内科学会雑誌』91(4)1077-1080
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器)主要疾患の歴史 肺癌」曾根三郎『日本内科学会雑誌』91(6)1741-1746
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝)主要疾患の歴史 高脂血症」曾根博仁、山田信博『日本内科学会雑誌』91(4)1202-1207
- 「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 葉害、スモンを中心に患者の多発した状況から原因の解明に至る経過」高須俊明『日本内科学会雑誌』91(1)138-149
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝)主要疾患の歴史 性腺機能異常症」武谷雄二『日本内科学会雑誌』91(4)1208-1211
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)循環器領域の100年 心臓核医学」玉木長良『日本内科学会雑誌』91(3)823-827
- 「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 癌研究100年の変遷」塚越茂『日本内科学会雑誌』91(1)133-137
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器)主要疾患の歴史 肺サルコイドーシス」津田富康、三上理一郎、畑正広『日本内科学会雑誌』91(6)1765-1774
- 「内科100年のあゆみ(アレルギー・膠原病)アレルギー・膠原病領域の100年 抗核抗体の歴史」東條毅『日本内科学会雑誌』91(9)2560-2566
- 「内科100年のあゆみ(腎臓)診療ガイドラインレビュー IgA腎症」富野康日己『日本内科学会雑誌』91(5)1528-1536
- 「内科学の100年」中澤三郎『日本内科学会雑誌』91(臨増)9-17
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)主要疾患の歴史 小児心臓病学」中澤誠『日本内科学会雑誌』91(3)900-904
- 「内科100年のあゆみ(腎臓)日本人の貢献 日本における腎臓病学」長澤俊彦『日本内科学会雑誌』91(5)1425-1427
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器)日本人の貢献 気管支ファイバースコープ」中西洋一、原信之『日本内科学会雑誌』91(6)1719-1721
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)主要疾患の歴史 肺動脈血栓栓症」中野赳、太田雅弘、山田典一、中村真潮『日本内科学会雑誌』91(3)930-936

- 「内科100年のあゆみ(呼吸器)呼吸器領域の100年 喫煙と肺疾患」中村博幸、大石修司、柳生久永、森迫隆弘、岸厚次、松岡健『日本内科学会雑誌』91(6)1702-1707
- 「内科100年のあゆみ(消化器)消化器領域の100年 肝機能検査の歴史」波久利彦『日本内科学会雑誌』91(2)522-525
- 「内科100年のあゆみ(消化器)消化器領域の100年 自己免疫性肝炎」西岡幹夫『日本内科学会雑誌』91(2)561-565
- 「内科100年のあゆみ(消化器)消化器領域の100年 内視鏡」丹羽寛文『日本内科学会雑誌』91(2)530-534
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝)主要疾患の歴史 甲状腺機能異常症」橋爪潔志『日本内科学会雑誌』91(4)1184-1187
- 「慢性膵炎の疾患概念の変遷と今後 日本内科学会創立100周年を記念して」早川哲夫『日本内科学会雑誌』91(臨増)1-8
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)主要疾患の歴史 肺性心」半田俊之介『日本内科学会雑誌』91(3)917-922
- 「内科100年のあゆみ(腎臓)主要疾患の歴史 急性腎不全」菱田明『日本内科学会雑誌』91(5)1448-1452
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器)呼吸器領域の100年 気管支鏡」福岡正博『日本内科学会雑誌』91(6)1669-1672
- 「内科100年のあゆみ(血液)主要疾患の歴史 凝固異常症」

- 福武勝幸『日本内科学会雑誌』91(7)2125-2130
- 「内科100年のあゆみ(消化器)日本人の貢献 消化器癌の内視鏡診断」福富久之『日本内科学会雑誌』91(2)569-571
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝)主要疾患の歴史 副腎皮質機能異常症」藤枝憲二『日本内科学会雑誌』91(4)1172-1178
- 「内科100年のあゆみ(腎臓)主要疾患の歴史 中毒性腎症」細谷龍男、大野岩男『日本内科学会雑誌』91(5)1508-1512
- 「内科100年のあゆみ(内分泌・代謝)内分泌・代謝領域の100年 わが国における糖尿病100年の歩み」堀田饒『日本内科学会雑誌』91(4)1100-1104
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器)主要疾患の歴史 心不全」堀正二、朝野仁裕『日本内科学会雑誌』91(3)880-886
- 「内科100年のあゆみ(腎臓)腎臓領域の100年 透析治療」前田憲志『日本内科学会雑誌』91(5)1413-1416
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器)日本人の貢献 パルスオキシメータ 青柳卓雄 パルスオキシメータの原理の発案者」松瀬健『日本内科学会雑誌』91(6)1725-1727
- 「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 脚気論争 日本最初の医学論争」松田誠『日本内科学会雑誌』91(1)125-128
- 「内科100年のあゆみ(消化器)主要疾患の歴史 大腸癌」松

- 本主之、桧沢一興、飯田三雄『日本内科学会雑誌』91(2) 601-605
- 「内科100年のあゆみ(内科横断領域) 関連する医学・医療分野の歴史 診断病理学」真鍋俊明『日本内科学会雑誌』91(11)3185-3189
- 「内科100年のあゆみ(神経) 主要疾患の歴史 筋萎縮性側索硬化症」萬年徹『日本内科学会雑誌』91(8)2349-2353
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器) 主要疾患の歴史 弁膜症」宮武邦夫『日本内科学会雑誌』91(3) 894-899
- 「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 日本の結核流行と対策の100年」森亨『日本内科学会雑誌』91(1)129-132
- 「内科学と日本内科学会100年のあゆみ 内科100年の変遷 細菌学黎明期における日本人の活躍」森良一『日本内科学会雑誌』91(1)121-124
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器) 循環器領域の100年 心臓カテーテル検査の歴史」諸井雅男、山口徹『日本内科学会雑誌』91(3)808-813
- 「内科100年のあゆみ(消化器) 主要疾患の歴史 炎症性腸疾患」八尾恒良『日本内科学会雑誌』91(2)606-610
- 「内科100年のあゆみ(感染症) 主要疾患の歴史 梅毒」柳原

- 保武、柳原格『日本内科学会雑誌』91(10)2983-2989
- 「内科100年のあゆみ(アレルギー・膠原病) 主要疾患の歴史 痛風」山中寿、鎌谷直之『日本内科学会雑誌』91(9)2656-2662
- 「内科100年のあゆみ(腎臓) 腎臓領域の100年 経皮的腎生検」横山仁、木田寛『日本内科学会雑誌』91(5)1390-1392
- 「内科100年のあゆみ 医の調和を求めて 日本内科学会100年の歩みと課題 内科100年のあゆみ(循環器) 循環器領域の100年 心エコー」吉川純一『日本内科学会雑誌』91(3)817-822
- 「内科100年のあゆみ(腎臓) 主要疾患の歴史 糖尿病性腎症」吉川隆一『日本内科学会雑誌』91(5)1489-1491
- 「内科100年のあゆみ(呼吸器) 日本人の貢献 夏型過敏症肺炎」吉澤靖之、三宅修司、稲瀬直彦、海野剛、大谷義夫、角勇樹、古屋正『日本内科学会雑誌』91(6)1713-1715
- 「内科100年のあゆみ(消化器) 主要疾患の歴史 ウイルス肝炎・肝硬変」吉田晴彦、小俣政男『日本内科学会雑誌』91(2)622-626

45 皮膚科史

- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 ドイツ皮膚科学界におけるユダヤ人」上野賢一『皮膚科の臨床』44(10)1069-1073
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ

皮膚科医 ユダヤ人の歴史」上野賢一『皮膚科の臨床』44
(9)957-960

「皮膚科医学史 トルコ医学史の旅から エディルネの春」中
西淳朗『皮膚病診療』24(11)1296-1298

「皮膚科医学史 トルコ医学史の旅から 遂に葉草を」中西
淳朗『皮膚病診療』24(10)1166-1168

「ドイツの皮膚科学の歴史とその日本の皮膚科学の精神に対
する影響 (History of German dermatology and its
influence on the spirit of Japanese dermatology) (英文)」
Happle R. 『西日本皮膚科』64(3)373

46 泌尿器科史

「泌尿器科学の挑戦譜第4回 人体にやさしい医療用具を！
シリコーン製尿道カテーテル」『Organon Urology
Academia Report』(4)6-7

「泌尿器科学の挑戦譜第3回 難治・淋疾に挑む「佐藤式尿
道鏡」の誕生」『Organon Urology Academia Report』(3)
10-11

47 病院学

「七山浄見寺爽神堂及び七山病院の歴史」鈴木英鷹、本多義
治、森山健三、本多秀治、高内茂『精神医学史研究』6(1)
61-70

「横浜三島堂病院略史 (抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』48

(3)352-353

「杉木新村病院の沿革に関する資料」寺畑信太郎、寺畑喜朔
『北陸医史』23(1)21-29

「二十世紀前半における京都・岩倉の“国際化”について (そ
の二) (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』48(3)374-375

48 病跡学

「グレイト・オーモンド・ストリート小児病院の設立について
(抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』48(3)364-365

「ミューズの病跡学 恋の病と尿検査」早川智、山本樹生
『産科と婦人科』69(3)393-395

「ミューズの病跡学 チェリーニの関節炎とクラミジア」早
川智、山本樹生『産科と婦人科』69(11)1682-1684

「ミューズの病跡学 ハイドンの鼻ポリープ」早川智、山本
樹生『産科と婦人科』69(4)496-499

「ミューズの病跡学 ヒエロニムス・ボスと愚者の石」早川
智、山本樹生『産科と婦人科』69(1)106-109

「ミューズの病跡学 ミケランジェロの痛風結節」早川智、
山本樹生『産科と婦人科』69(12)1806-1809

53 放射線医学史

「医療こぼればなし レントゲン写真の歴史 (その1)」笹壁
弘嗣『看護実践の科学』27(9)47

「【緊急被ばく医療体制の現状と課題 放射線災害・事故時の

対応の取り決め】わが国の被ばく医療の歴史」神裕『IN-
NERVISION』17(6)1-5

「X線CT装置の歴史 過去、現在、そして未来」辻岡勝美
『日本放射線技術学会雑誌』58(1)67-71

54 本草学史・博物学史

「『草木図説』草部の近世舶来植物について」遠藤正治『慾齋
研究会だより』(96)2-8

「小野蘭山・蕙畝父孫と幕府医学館の本草学VII」遠藤正治
『慾齋研究会だより』(97)2-7

「シーボルト記念館蔵の「阿蘭陀草木鏡図」とその背景につ
いて(抄)」ミヒェル、ヴォルフガング『日本医史学雑誌』48
(3)470-471

55 麻酔学史

「医史学研究の先取権を巡って—「華岡青洲の麻沸散」の実験
的追試—」松木明知『科学医学資料研究』30(7)119-127

56 門人録

「吉益家門人録(四)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』48(2)
226-258

57 薬学史

「医薬分業に反対した大正期の医師、法学者」天野宏『薬史

学雑誌』37(1)59-64

「第50回帝国議会と医薬分業」天野宏『薬史学雑誌』37(1)
53-58

「売薬法と医薬分業」磯部総一郎、天野宏『薬史学雑誌』37
(1)36-40

「無処方調剤事件と医薬分業」磯部総一郎、天野宏『薬史学雜
誌』37(1)41-46

「横浜誤薬事件と医薬分業」磯部総一郎、天野宏『薬史学雜
誌』37(1)47-52

「ザクロ：語源と漢土への到来」内林政夫『薬史学雑誌』37
(2)152-154

「麦角と麦奴」内林政夫『薬史学雑誌』37(2)155-157

「医史学から見た薬用キノコ」奥沢康正『啓迪』(20)31-47

「新薬50年史5 結核治療薬の開発と疫学的影響」小澤光、小
澤輝高『薬史学雑誌』37(1)84-94

「新薬50年史4 ハンセン病治療薬の開発と影響」小澤光、丸
山裕『薬史学雑誌』37(1)76-83

「抗精神病薬概念の歴史の変遷 開発の思想と手法」田島治
『臨床精神薬理』5(2)139-146

「「日野商人と阿片」」中井脩太郎『啓迪』(20)55

「生薬の小道 むらさき(紫根)」中村實郎『STETHO-
SCOPE』(168)2-3

「日本およびアジア諸国におけるコーヒーの史的考察—アジ
アの伝統医学から見た効用を中心に—」難波恒雄、松瀬イ

ネス俱子『葉史学雑誌』37(1)65-75

「江戸時代における樟腦の利用(4)防虫、防湿と防臭」服部昭『葉史学雑誌』37(2)128-134

58 蘭学史

「日蘭交流400周年記念 それぞれの日蘭交流—武士・町人・オランダ人—」『一滴』(9)107-121

「出島の外科医」相川忠臣『日本呼吸器外科学会雑誌』16(3)290-291

「『阿蘭陀人逗留中詰切出役書留』について」片桐一男『日蘭学会会誌』26(2)94-132

「整形外科と蘭学 日本最初の人骨図」川島真人『臨床整形外科』37(11)1362-1363

「奥州一関地方と作州津山—蘭学における相互関係と出版状況をさぐる—」鈴木彦彦『一滴』(9)158-122

「オランダ商館長ドゥーフとフヴォストフ文書」松本英治『一滴』(9)77-106

「天文学関係蘭文断簡について(上)」吉田忠『鳴滝紀要』(12)1-15

59 リハビリテーション関係史

「整形外科領域のリハビリテーションの検証 日本のリハビリテーション医学における整形外科医の関わりの歴史」今田拓『日本整形外科学会雑誌』76(4)S481

「厚生年金による義肢支給 歴史と現状」川村次郎、綾田裕子『リハビリテーション医学』39(Suppl.)S355

「脊髄損傷リハビリテーション実践マニュアル 歴史的考察と疫学 脊髄損傷の疫学」新宮彦助『MEDICAL REHABILITATION』(22)4-6

「脊髄損傷リハビリテーション実践マニュアル 歴史的考察と疫学 脊髄損傷のリハビリテーションの歴史的考察とリハビリテーションを行う意義について」二瓶隆一『MEDICAL REHABILITATION』(22)1-3

60 検査

「食道内視鏡検査の歴史 硬性鏡からEMRまで」遠藤光夫『日本気管食道科学会会報』53(2)55-64

「ME計測の発展と医療への貢献」梶谷文彦『日本集中治療医学会雑誌』9(1 Suppl.)214-215

「超音波検査の歴史(その1 2)」笹壁弘嗣『看護実践の科学』27(12-13)48, 44

「中枢神経系の神経生理学検査の歴史と展望」山田徹『リハビリテーション医学』39(Suppl.)S117

61 その他

「人間と履物の歴史的考察」桜井実『靴の医学』16(1)34

「クリティカルケアの質 日常生活支援 清潔 日本人の風呂のルーツ」松平誠『日本集中治療医学会雑誌』9

62 中国語文献

「医史前輩の優良学風应予発揚」梁峻『中華医史雜誌』32(1) 3-4

「20世紀初美国高等医学教育改革歷程的回顧与分析」張艷荣『中華医史雜誌』32(1)5-9

「内窺鏡發展史」呂平・劉芳等『中華医史雜誌』32(1)10-14

「腎上腺外科發展簡史」楊嗣星・王玲瓏『中華医史雜誌』32(1)15-18

「中国近代出版的西医護理書籍」盧萍『中華医史雜誌』32(1) 19-23

「『難經本義』原刻殘卷考察」史常永『中華医史雜誌』32(1) 24-25

「『類經』版本初考」趙含森・郭玲『中華医史雜誌』32(1)26-28

「黃以周治『内經』」胡本祥・黃友梅等『中華医史雜誌』32(1) 29-31

「略論儒家中庸思想对中医方剂学的影響」袁冰・石東平『中華医史雜誌』32(1)32-35

「吳鞠通『温病条辨』对『傷寒論』的繼承与發展」黃海『中華医史雜誌』32(1)36-38

「汪綺石脾胃学术思想探討」紀立金『中華医史雜誌』32(1) 39-41

「王孟英養陰保津学說探討」馮崇廉『中華医史雜誌』32(1) 42-44

「文仕通医現象析因」黃芝蓉・侯国洪『中華医史雜誌』32(1) 45-48

「近现代台湾的医学院校」高田・哈鴻潜『中華医史雜誌』32(1)49-53

「海外兩具古銅人的考証」靳士英・靳朴『中華医史雜誌』32(1)54-56

「眼科中西医結合歷史的回顧」殷納新『中華医史雜誌』32(1) 57-58

「評地域医学著作『岭南中医』」李經緯『中華医史雜誌』32(1) 59-61

「『本草綱目』癰疽徹骨痒」何義勇・李江萍『中華医史雜誌』32(1)9

「柯逢時与武昌医館」朱祥麟『中華医史雜誌』32(1)14

「歷史上的炭疽熱研究与細菌載」李志平『中華医史雜誌』32(1)18

「『衛生宝書』「淫肉」积義」孫啓明『中華医史雜誌』32(1)25

「我国著名的眼科学家畢華德教授」楊鈞『中華医史雜誌』32(1)31

「近代医家在中西医眼科彙通中的医事活動」余永燕『中華医史雜誌』32(1)56

「花柳毒淋小議」李順民『中華医史雜誌』32(1)61

「人類最早的試管嬰兒」『中華医史雜誌』32(1)23

- 「避孕環的由來」『中華医史雜誌』32(1)28
- 「世界上第一個專職輸血專家」『中華医史雜誌』32(1)35
- 「40年代的中醫師檢核委員會概況」張志斌『中華医史雜誌』32(2)67-72
- 「民国時期執業醫師許可制的健全過程」田曉旭『中華医史雜誌』32(2)73-77
- 「關於韓醫師資格考試制度的研究」李炫知·金敬等『中華医史雜誌』32(2)78-81
- 「蔡西山『脉經』考」鄭金生『中華医史雜誌』32(2)82-84
- 「『証類本草』「墨蓋」下引「唐本」、「唐本注」討論」尚志鈞『中華医史雜誌』32(2)85-86
- 「『千金要方』異文對校與研究」林楠·王立子『中華医史雜誌』32(2)87-91
- 「『四部医典』中的針灸學內容」白純『中華医史雜誌』32(2)92-93
- 「兒科寒溫兩派學術爭鳴的源流與影響」朱錦善『中華医史雜誌』32(2)94-98
- 「中國第一台X光診斷機的引進」鄧紹根『中華医史雜誌』32(2)99-101
- 「西方醫院發展簡史」方崇亮·劉丕岩等『中華医史雜誌』32(2)102-107
- 「近代山東幾種傳染病的相關史料」姜志平『中華医史雜誌』32(2)119-121
- 「「中西醫結合」與「中西醫彙通」的本質區別」王振瑞『中華医史雜誌』32(2)122-124
- 「古醫書的「脉」是血脉非「灸療感伝」」毛良『中華医史雜誌』32(2)125-127
- 「說『江蘇省志·衛生志』」李經緯『中華医史雜誌』32(2)128-封三
- 「醫學史文獻在我國期刊中的分布初步調查」叢愛玲·台芳玲等『中華医史雜誌』32(2)77
- 「歐洲大陸的現代瘟疫」李志平『中華医史雜誌』32(2)113
- 「蔣素生卒年代初考」喬洪華·朱勇『中華医史雜誌』32(2)封三
- 「腦血管瘤現代外科的奠基者」『中華医史雜誌』32(2)84
- 「剖宮產史話」『中華医史雜誌』32(2)124
- 「近50年的中國古代疫情研究」賴文·李永宸等『中華医史雜誌』32(2)108-113
- 「兩位醫學家的自伝」程之范『中華医史雜誌』32(2)114-118
- 「宋明理學對中醫學理論的影響」孟慶雲『中華医史雜誌』32(3)131-134
- 「方劑學發展史上的兩個特徵」張家瑋『中華医史雜誌』32(3)135-139
- 「史堪與『史載之方』考」王振國『中華医史雜誌』32(3)140-144
- 「許任『針灸經驗方』及其流伝」王宗欣『中華医史雜誌』32(3)145-147
- 「『敖氏傷寒金鏡錄』學術淵源探討」梁嶸·王召平『中華医史

- 雜誌』32(3)148-150
- 「王如尊手抄本『東医宝鑑』探討」閻桂銀·馮晶『中華医史雜誌』32(3)151-154
- 「戰國至三國時期我国外科学成就」周俊兵『中華医史雜誌』32(3)155-158
- 「華佗「六部三法」傷寒学說的歷史意義」曹東義『中華医史雜誌』32(3)159-162
- 「台湾大学医学院百年史」哈鴻潛·高田『中華医史雜誌』32(3)163-169
- 「近代山西「中西医彙通」医事述略」劉星『中華医史雜誌』32(3)170-172
- 「近代民衆和医生对鼠疫的觀察与命名」李玉尚『中華医史雜誌』32(3)173-178
- 「現代医学頭頸癌治療史」郭伝瓚·張大慶『中華医史雜誌』32(3)179-183
- 「30年来武威漢代医簡研究進展」張延昌『中華医史雜誌』32(3)184-187
- 「藏医学起源的新探索」香多·李先如·羅秉芬『中華医史雜誌』32(3)188-191
- 「評『中華医学文物図集』」梁峻·李經緯『中華医史雜誌』32(3)192-封三
- 「口疳專著『走馬急疔真方』」谷勝東『中華医史雜誌』32(3)144
- 「保心石小考」甄雪燕『中華医史雜誌』32(3)154
- 「50年来我国王清任研究概況」劉玉璋『中華医史雜誌』32(3)169
- 「近10年国外医学通史的研究与著述」李志平『中華医史雜誌』32(3)191
- 「大腦功能定位的第一個發現者」『中華医史雜誌』32(3)162
- 「按摩与推拿」『中華医史雜誌』32(3)178
- 「浙江畚族民間医藥衛生述要」竹劍平·林松彪『中華医史雜誌』32(4)195-199
- 「『岐黃』考积」朱建平『中華医史雜誌』32(4)200-204
- 「石振鐸『本草補』研究」甄雪燕·鄭金生『中華医史雜誌』32(4)205-207
- 「宋版『洪氏集驗方』『傷寒要旨藥方』版本流伝簡考」錢超塵『中華医史雜誌』32(4)208-212
- 「『類經』底本研究」郭玲·趙含森『中華医史雜誌』32(4)213-215
- 「『五十二病方』烏頭中毒解救方藥簡析」談宇武·談宇文『中華医史雜誌』32(4)216-217
- 「論「神農嘗百草，一日而遇七十毒」內涵」郝保華·康興軍等『中華医史雜誌』32(4)218-222
- 「黄宗羲与医学」楊小明『中華医史雜誌』32(4)223-226
- 「福州地区早期的中医雜誌」劉德榮『中華医史雜誌』32(4)227-229
- 「循証医学簡史」張鳴明·李幼平『中華医史雜誌』32(4)230-233

- 「交叉韌帶外科發展史略」尚平・高勇『中華医史雜誌』32(4) 234-237
- 「細胞凋亡學說」彭黎明・徐霞『中華医史雜誌』32(4)238-242
- 「尚德延与我国現代麻醉學的發展」王古岩『中華医史雜誌』32(4)243-246
- 「1956年蘇聯醫學專家在陝西調查地方病的情況」辛智科『中華医史雜誌』32(4)247-249
- 「『雷公炮炙論』著作年代討論」尚志鈞『中華医史雜誌』32(4) 250-253
- 「讀『職業化衛生管理隊伍建設研究』」廖果・李經緯『中華医史雜誌』32(4)254-255
- 「人類基因組圖譜的繪制進程」呂鳳雲・郝清華『中華医史雜誌』32(4)199
- 「近50年『傷寒論』研究論文在我国72種中醫藥期刊中的分布」熊曼琪・李永宸『中華医史雜誌』32(4)233
- 「吳棹仙先生事迹簡介」黃振富『中華医史雜誌』32(4)242
- 「『衛濟寶書』軟癰考積」孫啓明『中華医史雜誌』32(4)255
- 「艾滋病的發現与世界艾滋病日」『中華医史雜誌』32(4)204

64 歐文文獻

- BECKETT, Chris: An Epidemiologist at Work: The Personal Papers of Sir Richard Doll: Medical History: 46(3) 403-421
- BÓDO, Béla: The Medical Examination and Biological

- Selection of University Students in Nazi Germany: Bull. Hist. Med.: 76(4)719-748
- BONAH, Christian: 'Experimental Rage': The Development of Medical Ethics and the Genesis of Scientific Facts. Ludwik Fleck: An Answer to the Crisis of Modern Medicine in Interwar Germany?: So. Hist. Med.: 15(2) 187-207
- BORGWARDT, Götz: Bernhard Schapiro-Ein orthodoxer Jude als fruher Androloge im 20. Jahrhundert: Sudhoffs Archiv: 86(2)181-197
- BROOMHALL, Susan: 'Women's Little Secrets': Defining the Boundaries of Reproductive Knowledge in Sixteenth-century France: So. Hist. Med.: 15(1)1-15
- BURGMAIR, W./WEBER, M.M.: „...dass er selbst mit aller Energie gegen diese Hallucinationen ankämpfen muss...” König Otto von Bayern und die Münchner Psychiatrie um 1900: Suddhoffs Archiv: 86(1)27-53
- CARROLL, Patrick E.: Medical Police and the History of Public Health: Medical History: 46(4)461-494
- CARTER, K. Codell: Early Conjectures That Down Syndrome Is Caused by Chromosomal Nondisjunction: Bull. Hist. Med.: 76(3)528-563
- CHANG, Chia-Feng: Disease and Its Impact on Politics, Diplomacy, and the Military: The Case of Smallpox and

- the Manchus (1613-1795): *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57 (2)177-197
- COMPTON, Michael T.: The Association of Hygieia with Asklepios in Graeco-Roman Asklepieion Medicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(3)312-329
- CONTI, A.A./LIPPI, D./GENSINI, G.F.: Enrico Pieragnoli and the Prevention of Tuberculosis: *Florence 1906: Vesalius*: 8(2)26-29
- CONTREPOIS, Alain: The Clinician, Germs and Infectious Diseases: The Example of Charles Bouchard in Paris: *Medical History*: 46(2)197-220
- CRENNER, Christopher: Diagnosis and Authority in the Early Twentieth-Century Medical Practice of Richard C. Cabot: *Bull. Hist. Med.*: 76(1)30-55
- CURTH, Louise Hill: The Care of the Brute Beast: Animals and the Seventeenth-century Medical Marketplace: *So. Hist. Med.*: 15(3)375-392
- DAEMMRICH, Arthur: A Tale of Two Experts: Thalidomide and Political Engagement in the United States and West Germany: *So. Hist. Med.*: 15(1)137-158
- DAVIES, Megan J.: Competent Professionals and Modern Methods: State Medicine in British Columbia during the 1930s: *Bull. Hist. Med.*: 76(1)56-83
- DUFFIN, J./CAMPLING, B.G.: Therapy and Disease Concepts: The History (and Future?) of Antimony in Cancer: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(1)61-78
- ELLIOTT, Paul: The Derbyshire General Infirmary and the Derby Philosophers: The Application of Industrial Architecture and Technology to Medical Institutions in Early-Nineteenth-Century England: *Medical History*: 46 (1)65-92
- FORRESTER, John M.: The Marvellous Network and the History of Enquiry into Its Function: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(2)198-217
- FORTNER, R./GROSS, D.: Egas Moniz und die Leukotomie-Debatte unter besonderer Berücksichtigung des portugiesischsprachigen Schrifttums: *Sudhoffs Archiv*: 86(2)138-170
- GEIER, D./GEIER, M.: The True Story of Pertussis Vaccination: A Sordid Legacy?: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(3) 249-284
- GELFAND, Toby: 11 January 1887, the Day Medicine Changed: Joseph Grancher's Defense of Pasteur's Treatment for Rabies: *Bull. Hist. Med.*: 76(4)698-718
- GUILLEMIN, Jeanne: Choosing Scientific Patrimony: Sir Ronald Ross, Alphonse Laveran, and the Mosquito-Vector Hypothesis for Malaria: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(4)385-409

- HANLEY, James: Edwin Chadwick and the Poverty of Statistics: *Medical History*: 46(1)21-40
- HANLEY, James G.: The Public's Reaction to Public Health: Petitions Submitted to Parliament, 1847-1848: *So. Hist. Med.*: 15(3)393-411
- HAUSMAN, Gary J.: Making Medicine Indigenous: Homeopathy in South India: *So. Hist. Med.*: 15(2)303-322
- HAZELGROVE, Jenny: The Old Faith and the New Science: The Nuremberg Code and Human Experimentation Ethics in Britain, 1946-73: *So. Hist. Med.*: 15(1)109-135
- HELMSTADTER, Carol: Early Nursing Reform in Nineteenth-Century London: A Doctor-Driven Phenomenon: *Medical History*: 46(3)325-350
- HELVOORT, Ton Van: Institutionalizing Biochemistry: The Enzyme Institute at the University of Wisconsin: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(4)449-479
- HERNÁNDEZ-SÁENZ, Luz María: Matters of Life and Death: The Hospital of San Pedro in Puebla, 1790-1802: *Bull. Hist. Med.*: 76(4)669-697
- HOOKE, C./BASHFORD, A.: Diphtheria and Australian Public Health: Bacteriology and Its Complex Applications, c. 1890-1930: *Medical History*: 46(1)41-64
- HUNTSMAN, R.G./BRUIN, M./HOLTTUM, D.: Twixt Candle and Lamp: The Contribution of Elizabeth Fry and the Institution of Nursing Sisters to Nursing Reform: *Medical History*: 46(3)351-380
- JACOB, M.C./ SAUTER, M.J.: Why Did Humphry Davy and Associates Not Pursue the Pain-Alleviating Effects of Nitrous Oxide?: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(2)161-176
- JACOBY, Joachim: Die Übergießung mit Wasser-Hydrotherapeutische Vorschriften im Spätmittelalter: *Sudhoffs Archiv*: 86(1)54-68
- JASEN, Patricia: Breast Cancer and the Language of Risk, 1750-1950: *So. Hist. Med.*: 15(1)17-43
- JENNINGS, Eric T.: Curing the Colonizers: Highland Hydrotherapy in Guadeloupe: *So. Hist. Med.*: 15(2)229-261
- JENNINGS, Michael: 'This Mysterious and Intangible Enemy': Health and Disease Amongst the Early UMCA Missionaries, 1860-1918: *So. Hist. Med.*: 15(1)65-87
- JOHNSON, N.P.A.S./MUELLER, J.: Updating the Accounts: Global Mortality of the 1918-1920 "Spanish" Influenza Pandemic: *Bull. Hist. Med.*: 76(1)105-115
- JONES, David S.: The Health Care Experiments at Many Farms: The Navajo, Tuberculosis, and the Limits of Modern Medicine, 1952-1962: *Bull. Hist. Med.*: 76(4)

- 749-790
- JONES, Margaret: Infant and Maternal Health Services in Ceylon, 1900-1948: Imperialism or Welfare?: *So. Hist. Med.*: 15(2)263-289
- JONES, e.w./JONES, R.G.W.: Merlin Pryce (1902-1976) and Penicillin: A Abiding Mystery: *Vesalius*: 8(2)6-25
- JORDAN, Ellen: 'Suitable and Remunerative Employment': The Feminization of Hospital Dispensing in Late Nineteenth-century England: *So. Hist. Med.*: 15(3)429-456
- JUNOD, S.W./ MARKS, L.: Women's Trials: The Approval of the First Oral Contraceptive Pill in the United States and Great Britain: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(2)117-160
- JUNOD, Suzanne White: Perspectives on the Pills: An Essay Review: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(3)333-339
- KEATING, P./CAMBROSIO, A.: From Screening to Clinical Research: The Cure of Leukemia and the Early Development of the Cooperative Oncology Groups, 1955-1966: *Bull. Hist. Med.*: 76(2)299-334
- KEIL, Gundolf: Roger Frugardi und die Tradition langobardischer Chirurgie: *Sudhoffs Archiv*: 86(1)1-26
- KENNY, Michael G.: A Darker Shade of Green: Medical Botany, Homeopathy, and Cultural Politics in Interwar Germany: *So. Hist. Med.*: 15(3)481-504
- KOTTEK, S.: La Protection de l'Enfance dans la Hausväterliteratur: *Vesalius*: 8(1)7-12
- LAMBERG, B.A./SOLIN, H.: The Thyroid gland in *Anothomia Mundini* and in the *Commentaria* of Berengarius: *Sudhoffs Archiv*: 86(2)171-180
- LANGFORD, Christopher: The Age Pattern of Mortality in the 1918-19 Influenza Pandemic: An Attempted Explanation Based on Data for England and Wales: *Medical History*: 46(1)1-20
- LENEMAN, Leah: *Smith v. Clark* and *Clark v. Smith*: Eighteenth-Century Scottish Doctors in Dispute: *Medical History*: 46(1)93-98
- LEV, Efraim: The Doctrine of Signatures in the Medieval and Ottoman Levant: *Vesalius*: 8(1)13-22
- LI, Shang-Jen: Natural History of Parasitic Disease: Patrick Manson's Philosophical Method: *Isis*: 93(2)206-228
- MACNAUGHTON, Jane: The St Andrews Institute for Clinical Research: An early Experiment in Collaboration: *Medical History*: 46(4)549-568
- MAGLEN, Krista: 'The First Line of Defence': British Quarantine and the Port Sanitary Authorities in the Nineteenth Century: *So. Hist. Med.*: 15(3)413-428

- MARK, Samuel: Alexander the Great, Seafaring, and the Spread of Leprosy: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(3)285-311
- MARTINI, E.: Jacques Cartier witnesses a treatment for scurvy: *Vesalius*: 8(1)2-6
- MCCLIVE, Cathy: The Hidden Truths of the Belly: The Uncertainties of Pregnancy in Early Modern Europe: *So. Hist. Med.*: 15(2)209-227
- MÉNORET, Marie: The Genesis of the Notion of Stages in Oncology: The French Permanent Cancer Survey (1943-1952): *So. Hist. Med.*: 15(2)291-302
- MITTWOCH, Ursula: "Clone": The History of a Euphonious Scientific Term: *Medical History*: 46(3)381-402
- MÜLLER, Thomas : Die Lehre in der Medizingeschichte kein Publikationsthema?: *Sudhoffs Archiv*: 86(1)86-92
- MURPHY, Elaine: The Lunacy Commissioners and the East London Guardians, 1845-1867: *Medical History*: 46(4)495-524
- NEVE, Michael: In Memoriam: Roy Porter: *Bull. Hist. Med.*: 76(4)791-793
- NICOLSON, M./LOWIS, G.W.: The Early History of the Multiple Sclerosis Society of Great Britain and Northern Ireland: A Socio-Historical Study of Lay/Practitioner Interaction in the Context of a Medical Charity: *Medical History*: 46(2)141-174
- OBREGON, Diana: Building National Medicine: Leprosy and Power in Colombia, 1870-1910: *So. Hist. Med.*: 15(1)89-108
- OLRY, R.: Baron Münchhausen and the Syndrome Which Bears His Name: History of an Endearing Personage and of a Strange Mental Disorder: *Vesalius*: 8(1)53-57
- OTTAVIANI, R./VANNI, P./GUERIN E./BODDI, V./VANNI, D.: Sur le "Mémoire historique et statistique de la Maison Royale de Charenton" de M. Esquirol: *Vesalius*: 8(1)23-33
- PAYNE, Linda: "With much nausea, oathing, and foetor": William Harvey, dissection, and dispassion in early modern medicine: *Vesalius*: 8(2)45-52
- PORTO, Paulo A.: "*Summus atque felicissimus salium*": The Medical Relevance of the *Liquor alkahest*: *Bull. Hist. Med.*: 76(1)1-29
- PRESCOTT, Heather Munro: Using the Student Body: College and University Students as Research Subjects in the United States during the Twentieth Century: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(1)3-38
- PRIORESCHI, P.: The idea of scientific progress in Antiquity and in the Middle Ages: *Vesalius*: 8(1)34-44

- RASMUSSEN, Nicolas: Steroids in Arms: Science, Government, Industry, and the Hormones of the Adrenal Cortex in the United States, 1930-1950: *Medical History*: 46(3)299-324
- RYAN, Joseph G.: The Chapel and the Operating Room: The Struggle of Roman Catholic Clergy, Physicians, and Believers with the Dilemmas of Obstetric Surgery, 1800-1900: *Bull. Hist. Med.*: 76(3)461-494
- SACHS, Michael: Die „Anatomischen Tabellen“ (1722) des Johann Adam Kulmus (1689-1745) Ein Lehrbuch für die(wund-)ärztliche Ausbildung im deutschen Sprachraum und in Japan: *Sudhoffs Archiv*: 86(1)69-85
- SAVITT, Todd L.: American Association for the History of Medicine: Report of the Seventy-fifth Annual Meeting: *Bull. Hist. Med.*: 76(3)564-582
- SCHÄFER, Daniel: 'That Senescence Itself is an Illness': A Transitional Medical Concept of Age and Ageing in the Eighteenth Century: *Medical History*: 46(4)525-548
- SCHLOEGEL, J.J./SCHMIDGEN, H.: General Physiology, Experimental Psychology, and Evolutionism Unicellular Organisms as Objects of Psychophysiological Research, 1877-1918: *Isis*: 93(4)614-645
- SCHWEIKARDT, C.: The self-presentation of the Halle medical professor Friedrich Hoffman (1660-1742) mirrored by his autobiography: *Vesalius*: 8(2)36-44
- SHEPHERD, A./WRIGHT, D.: Madness, Suicide and the Victorian Asylum: Attempted Self-Murder in the Age of Non-Restraint: *Medical History*: 46(2)175-196
- SINDING, Christiane: Making the Unit of Insulin: Standards, Clinical Work, and Industry, 1920-1925: *Bull. Hist. Med.*: 76(2)231-270
- SMALLMAN-RAYNOR, M./CLIFF, A.D.: The Geographical Transmission of Smallpox in the Franco-Prussian War: Prisoner of War Camps and Their Impact upon Epidemic Diffusion Processes in the Civil Settlement System of Prussia, 1870-71: *Medical History*: 46(2)241-264
- SNELDERS, S./KAPLAN, C.: LSD Therapy in Dutch Psychiatry: Changing Socio-Political Settings and Medical Sets: *Medical History*: 46(2)221-240
- SZABO, Jason: Seeing is Believing? The Form and Substance of French Medical Debates over Lourdes: *Bull. Hist. Med.*: 76(2)199-230
- TEMKIN, Elizabeth: Rooming-In: Redesigning Hospitals and Motherhood in Cold War America: *Bull. Hist. Med.*: 76(2)271-298
- TOON, E./GOLDEN, J.: Live Clean, Thick Clean, and Don't Go to Burlesque Shows": Charles Atlas as Health

- Advisor: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(1)39-60
- VANNI, P./OTTAVIANI, R./GUERIN, E./VANNI, D.: Henry Dunant and Norman Bethune: a Canadian Surgeon Who Worked with H. Dunant at the Battle of Solferino: *Vesalius*: 8(2)30-35
- VRAY, B.: Les apports de la biologie moléculaire à la paléoparasitologie: *Vesalius*: 8(1)45-52
- WADDINGTON, Keir: Mayhem and Medical Students: Image, Conduct, and Control in the Victorian and Edwardian London Teaching Hospital: *So. Hist. Med.*: 15(1)45-64
- WALLER, John C.: 'The Illusion of an Explanation': The Concept of Hereditary Disease, 1770-1870: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(4)410-448
- WATKINS, Elizabeth Siegel: "Doctor, Are You Trying to Kill Me?": Ambivalence about the Patient Package Insert for Estrogen:*Bull. Hist. Med.*: 76(1)84-104
- WEAVER, Karol Kovalovich: The Enslaved Healers of Eighteenth-Century Saint Domingue: *Bull. Hist. Med.*: 76(3)429-460
- WEISZ, George: Regulating Specialties in France During the First Half of the Twentieth Century: *So. Hist. Med.*: 15(3)457-480
- WEXLER, Alice R.: Chorea and Community in a Nineteenth-Century Town: *Bull. Hist. Med.*: 76(3)495-527
- WHEELER, Susan: The Lancett Club at a Thurtell Feast, by Thomas Rowlandson: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(3)330-332
- WHEELER, Susan: Self-Portrait with Adelaide, Queen of Great Britain and Ireland, An Unrecorded Drawing by Jonathan Martin, Bethlehem Hospital, 1830: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 57(4)480-483
- WILKINSON, Lise: AJE Terzi and LW Sambon: Early Italian Influences on Patrick Manson's "Tropical Medicine", Entomology, and the Art of Entomological Illustration in London: *Medical History*: 46(4)569-579
- WOLFE, Audra J.: Germs in Space: Joshua Lederberg, Exobiology, and the Public Imagination, 1958-0964: *Isis*: 93(2)183-205